



132

蘭岳

rangaku no.132/spring

特集：Welcome to Muroran IT

目 次

巻頭言

入学生へのメッセージ —目標をもつこと— /学長 空 閑 良 壽	2
----------------------------------	---

特集「Welcome to Muroran IT」

大学生は「学生」か、「生徒」か。

/建築社会基盤系学科長 教授 濱 幸 雄	4
----------------------	---

ひとつのかけがえのない機会 One Precious Opportunity

/機械航空創造系学科長 教授 風 間 俊 治	5
------------------------	---

未来を担う皆さんへ

/応用理化学系学科長 教授 大 平 勇 一	6
-----------------------	---

これから新たな道を歩みだすあなたへ

/情報電子工学系学科長 教授 岸 上 順 一	7
------------------------	---

新入生の皆さんへ

/男女共同参画推進室女性研究者支援ユニット 特任教授 貞 許 礼 子	8
------------------------------------	---

室蘭から世界へ

/ひと文化系領域 准教授 ゲイナー・ブライアン・ノーリッグ	9
-------------------------------	---

目指せ江ノ島 /機械航空創造系学科 4年 ヨット部 大 原 伸	10
---------------------------------	----

本を通じた人とのつながり

/応用理化学系学科 4年 ビブリオバトル室蘭 土 田 健 斗	11
--------------------------------	----

特別寄稿

お気に入りの座右の銘を見つけよう

/元しくみ情報系領域 教授 前 田 純 治	12
-----------------------	----

私の推薦図書

くらし環境系領域 准教授 山 中 真 也	13
----------------------	----

くらし環境系領域 准教授 内 海 佐和子	13
----------------------	----

私の研究テーマ

自動的に環境計測を行う移動走行ロボット

/博士前期課程 生産システム工学系専攻2年 大 谷 充 人	14
-------------------------------	----

新任教員紹介

しくみ情報系領域 助教 川 村 幸 裕	15
---------------------	----

もの創造系領域 助教 中 田 大 将	15
--------------------	----

くらし環境系領域 准教授 内 海 佐和子	16
----------------------	----

しくみ情報系領域 助教 董 冕 雄	16
-------------------	----

くらし環境系領域 准教授 高 瀬 舞	17
--------------------	----

くらし環境系領域 助教 崔 亨 吉	17
-------------------	----

もの創造系領域 助教 佐々木 大 地	18
--------------------	----

らんらんプロジェクトレポート

工大祭実行委員会企画ー第54回工大祭ごみ削減プロジェクトー	19
工大祭実行委員会企画ー科学工作教室 in 工大2014ー	20
工大 Broadcasting Project 2014	21
工大フラワープロジェクト	22
Illumination Factory 2014 X'mas ～雪のワルツを光にのせて～	23
まちなかライブラリー2014	24
2014年度SARDハイブリッドロケットプロジェクト活動報告	25
鳥人間コンテスト出場を目的とした機体製作及びテストフライトの実行	26
ビブリオバトル室蘭2014	27
TEDxMuroranIT 開催プロジェクト	28
室蘭笑顔のまちプロジェクト ～室蘭の魅力を発信！～	29
ゆきあかり	30
JSBC2014 2年目の挑戦	31
室工大ワークショッププロジェクト	32

寄稿

新入生アンケートの結果から（平成26年実施）	／企画・評価室	33
------------------------	---------	----

TOPICS

蘭岳賞等受賞者紹介	35
学会賞等受賞者紹介	36

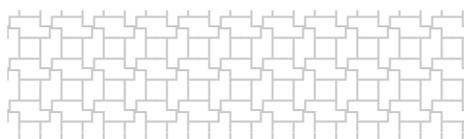
Information

図書館からのお知らせ	49
心や体のことで困ったら・・・ホケカン（保健管理センター）	51
男女共同参画推進室からのお知らせ	52
学生生活を送るにあたって	53
薬物は社会をこわす！	56

平成27年度前期授業時間割	57
---------------	----

平成27年度学年暦	62
-----------	----

編集後記





入学生へのメッセージ —目標をもつこと—

学長 空 閑 良 壽

私は、ちょうど学士課程に入学される皆さんが生まれた頃、1996年10月に本学の当時の応用化学科（現在は応用理化学系学科の一部）に助教授（現在の准教授）として着任しました。それから18年半たち、今年度は皆さんを、大学を代表してお迎えすることになりました。偶然ではありますが、皆さんが大学へ入学されるまでの約18年間と私の室蘭工大での18年間の仕事が重なって感じられます。18年前でも現在でも全く変わりませんが、大学生として身につけるべきことの1番は、工学基礎知識に基づいた論理的思考能力につきると思います。まじめに、愚直に、基礎知識を身につけ、そのうえで課題を直視して堂々ととりかかる姿勢が重要です。皆さん、大学においても勉学もまじめに、真摯に取り組んでください。

大学受験をクリアして、本学に入学された皆さんは、本学での学びを充実させ、勉強する資格、能力をもってこの入学式に臨んでいます。それでも本学においては、4年間でストレートで順調に卒業までこぎつける学生さんの割合は、約80%に過ぎません。残りの約20%の学生諸君は、残念なことに5年以上の時間を費やしての卒業となります。ご存じのように、大学は単位制をとっており、各科目において一定レベルの成績（達成度）を残さないと、その科目を修了すること、すなわち単位を修得することができません。本学は工業大学であり、当然のことながら工学の基礎を支える数学や理科の要素は、欠かせません。もし、苦手と感じる人がいたら、人並み以上に勉強に励んでください。

さて大学での学びを充実させるには、入学当初から、大学の4年間で何を学ぼう、何を修得しようと考え、簡単に言えば、目標をもつことが重要です。目的意識を持って、大学生活の4年間を充実させてください。4年間の学生生活のなかで、とりわけ最初の1年はとても重要です。最初の1年を順調に乗り切ると、残り3年間も安定した学生生活を送ることができる確率がうんと高くなります。入学時から卒業時にいたるまでの皆さんの大学での成績を統計的にみても、入学試験そのものの成績と卒業時の成績にはほとんど相関ありませんが、1年終了時の成績と卒業時の成績にはかなり強い相関があります。皆さん、大学に入学したことで、ほっと一安心し、目標を失いがちになっているかもしれませんが、1年生の時から自分のこれまで

の人生を振り返り、その上で4年間の学生生活の目標をぜひ設定して臨んで下さい。冒頭でも書いたように、この目標の一つとして、基礎知識に基づいた論理的思考能力を身につけることがありますと思います。学生時代は、まじめに、真摯に取り組む姿勢、心構えすなわち努力する姿勢が重要です。やがて、社会にでて、企業等に入社して、仕事に対する成果を求められるようになると、もう少し厳しくなって、努力するプロセスとともに、成果、結果もより重要となってきます。最初に目標を持つこと、これは学部生に限らず、大学院博士前期課程、後期課程へ入学する皆さんにも同様に大切なことです。

もう一つ、高校までとは大きく異なることとして、教室・クラスごとの担任の先生はいませんし、朝のホームルームもありません。朝遅刻して、怒ってくれる学級担任の先生はいません。したがって、すぐそこまで社会人になる日が近づいている大学生だから当然のことかもしれませんが、学生の皆さん自身の自己管理がとても重要となります。大学では、学習や普段の生活において、自己責任、自己管理が重要です。もう既に、大人、社会人になるための準備が始まっています。もちろん、替わりに相談する、学科ごとの学年主任や、コースごとの担任、コースの教員が分担して対応するチュータ制度はあります。相談はできますが、学生諸君が自ら相談に行く必要がありますね。最近では、大学もかなり手取足取り、丁寧な修学指導を行いますが、基本的に皆さんの自主的な姿勢、取り組みがより重要となります。大学では皆さんを大人と見なして接します。皆さんもそれに応える必要がありますし、自らの行動に責任をもってください。学生諸君の90%以上は、この水元の地で一人暮らしを始めることとなります。もう、ご両親をはじめご家族に頼ることも難しくなります。経済的な独立はもう少し先でしょうが、精神的には一人だちする時期となります。もちろん、本学の教職員も全力をあげてお手伝いしますが、皆さんの心構えが第一ですね。

最後になりますが、本学は西胆振地区で唯一の国立大学であり、本学には学生諸君だけでも3000人以上が在籍し、教職員を含めるともっと多くの人々が、一緒に学び一緒に育っていく、大きなコミュニティを形成しています。学生諸君同士、教職員や全国いや世界中で活躍している同窓生の皆さんも含めた室蘭工業大学そのものが、学生諸君にとっては、単に学習の場であるだけでなく、プレ社会としての役割を担っています。大人への、そして社会へ出る最後の準備期間として本学の大学・大学院生活を是非充実させてください。



大学生は「学生」か、「生徒」か。

建築社会基盤系学科長

教授 濱 幸 雄

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは今から晴れて大学生になりました。

さて、今皆さんに「大学生は学生か？生徒か？」という質問をすると、どちらと答えるでしょうか？私は、全員が「学生です」と答えることを期待していますが、現実とは違っているかもしれません。数年前から感じるのですが、世の中のかなり多くの方が大学生を「生徒」と呼んでいる事実があるのです。大学生本人達から求人活動をしている企業の方々まで、想像以上に多いのです。「優秀な室蘭工大の生徒さんを・・・」とか、「僕たち生徒の意見は・・・」とか。社会全体の風潮として「大学生の生徒化」が指摘されていて、大学生の未熟性、他律性が原因であるともいわれています。

ここで、改めて「学生」と「生徒」の違いについて考えてみましょう。広辞苑では、「生徒」は「学校などで教育を受ける者。特に、中等学校(中学校・高等学校)で教育を受ける者」とあり、「学生」は「学業を修める者。特に、大学で学ぶ者」とあります。法令上は所属する学校・課程で呼び名が異なり、「学生」と呼ばれるのは「高等教育機関」である大学および高等専門学校に在籍している者だけです。より具体的にいうと、「生徒」というのは「既知の事実を学ぶ人」で、「学生」というのは「未知の予測を実証する人」です。もっと簡単にいうと、「教えてもらうのが生徒、自ら研究するのが学生」ということになります。また、高校までの中等教育機関の先生は教員免許を持つ必要がありますが、大学等の高等教育機関ではその必要はありません。高等教育機関は、あくまで「研究する」機関なので、教員は「手助けをする」にすぎませんし、教員自身も研究をしています。生徒は「教えてもらう」立場のため、中学や高校の校則は基本的に厳しく、学生は「自分で研究する」立場のため、大学や高専の校則は基本的に

緩いのです。学業だけでなく、日常生活においても、大学生は自主性、主体性が求められ、「大人」としての責任ある行動が求められるということをご心得てください。皆さんが「生徒」と呼ばれたときには警戒してください。皆さんの自主性、主体性に疑問がもたれているときかもしれません。自主性、主体性を持って学業に取り組む学生の皆さんを、室蘭工業大学の教職員は全力で助けることを約束します。

一方で、科学技術の進歩は著しく、理工学分野では最新の技術を身に付けて研究するためには、高校で学んだ知識だけでは十分でない場合が多くあります。また、各々の専門分野の知識についてはこれまでの教育では学んでいないのが一般的です。そうすると、大学生もある一定の時期までは教えてもらう必要があります。その意味では、「大学生の生徒化」を否定的にみるだけでは正しくないのかもしれませんが、室蘭工業大学には学部と大学院があります。学部では3年次までの間は専門分野における既知の事実を学び、4年次の卒業研究で研究の手順と方法を体験するのです。そして、自分自身で専門分野における未知の問題を見つけ出し、論理的に問題を解決する研究という行為を初めて経験できるのが大学院なのです。

専門分野の基礎知識、問題発見能力、問題解決能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力等の社会が技術者に求めている能力を、皆さんの自主性と主体性のもとに身に付ける場が大学です。教えてもらうのではなく、自ら研究する真の「学生」になって下さい。皆さんと一緒に研究ができる日が来るのを望んでいます。



ひとつのかけがえない機会 One Precious Opportunity

機械航空創造系学科長

教授 風間 俊治

ご入学、おめでとうございます。室蘭工業大学 機械航空創造系学科へようこそ。これからの4年間（あるいは大学院博士前期（修士）課程を含めた6年間）、皆さんと一緒に、機械、航空、材料に関する「工学」を学ぶ機会を得られましたことを心より嬉しく思います。

興味を掻き立てる授業科目の数々、図書館に並ぶ難しそうな蔵書の山、大人に見えるクラスメートたち、はじめてのひとり暮らし・・・勉強に交友に、4年間をどのように過ごそうかと、不安を抱きつつも、ワクワクしていることと思います。

皆さんもご存知のように、2014年、マララ・ユスフザイさんがノーベル平和賞を受賞されました。マララさんは「すべての子どもに教育を受ける権利の実現を」と活動を続けられておられます。ここで、国連での有名な演説の一節を引用させていただきます。「・・・親愛なる兄弟姉妹のみなさん、忘れてはなりません。何百万もの方が貧困、不正、無知に苦しんでいます。何百万もの子どもたちが学校に通えずにいます。わたしたちの兄弟姉妹が、明るく平和な未来を待ち望んでいます。・・・(略)・・・ひとりの子ども、ひとりの教師、一冊の本、そして一本のペンが、世界を変えるのです。教育こそ、唯一の解決策です。まず、教育を。」*

勉強をしたくてもその機会を与えられない子供が多くいることを、そしてすべては教育が礎であることを、あらためて世の中に訴えておられます。皆さんは、4年間、勉学や研究に専念できる機会を得ました。4年は1,461日、35,064時間にもなります。どのように使うかを、皆さん自身が決めるのです。これまでにない自由が与えられることとなりますが、過ごし方に責任を担うことにもなります。

是非、この貴重な機会と膨大な時間を生かして下さい。また、毎日を規則正しく生活し、心身ともに健康で、楽しく有意義な4年間で過ごされて下さい。ありがとうございました。

*和訳の出典は、マララ・ユスフザイ(著)、クリスティーナ・ラム(著)、金原瑞人(訳)、西田佳子(訳)「わたしはマララ」学研マーケティング(2013)

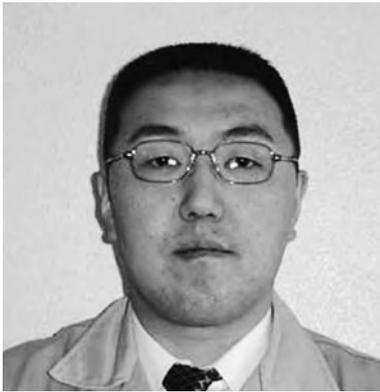
Congratulations on your admission to the Muroran Institute of Technology. Welcome to the Department of Mechanical, Aerospace, and Materials Engineering. We are very delighted to have you join us to study engineering related to mechanical systems, aerospace, and materials for four years (or six years, if you choose to continue in the Master's course of our graduate school).

Tantalizing subjects, many books in the library, mature classmates, living by yourself ... You must be excited about your new life and anxious about how to spend this period.

As you know, Ms. Malala Yousafzai was awarded the Nobel Peace Prize in 2014. She struggles against the suppression of children and for young people's rights, including the right to education. Here, is an excerpt from her speech at the U.N.: "... Dear brothers and sisters, we must not forget that millions of people are suffering from poverty and injustice and ignorance. We must not forget that millions of children are out of their schools. We must not forget that our sisters and brothers are waiting for a bright, peaceful future. ... One child, one teacher, one book, and one pen can change the world. Education is the only solution. Education first."

She tells the world that many children are being denied the opportunity to learn, and education is most important. You have the precious opportunity to study for four years, which is equivalent to 1,461 days or 35,064 hours. You can decide by yourself how to use this long time. Though you have a great amount of freedom, it is accompanied by a heavy duty of responsibility.

Definitely pursue this precious opportunity and invaluable time. In addition, lead an orderly life, maintain your physical and mental health, and enjoy your campus life. Thank you very much.



未来を担う皆さんへ

応用理化学系学科長

教授 大平 勇一

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これから4年間、室蘭で有意義な学生生活をおくってください。入学式後、ガイダンスや講義開始で忙しく、ここを読んでもらえるのは入学式から少し時間が経過しているかもしれません。少し落ち着いたところで読んで、以下のことをお風呂にでもつかりながらゆっくりと考えてみてください。

ところで、皆さんは「将来像」を描いてみたことはありますか？ 多くの人が卒業後の就職先くらいまでのイメージは持っていると思いますが、これをきっかけにもう少し先から考えてみてください。まず、皆さんは80歳になったときにどういう暮らしをしたいですか？ 今イメージした80歳で暮らしを実現するためには、定年退職を迎える頃、どのような暮らしをしていたら良いのでしょうか？ その65歳での暮らしを実現するには40代でどのような能力を身につけていたらいいですか？ 40代で必要となる能力を身につけるためには入社後どのような努力が必要でしょうか？ その努力を行うための基礎となる知識・考え方・コミュニケーション能力を大学卒業までの4年間に身につけてください。どうやって身につけるかは個々に考え、実践してもらうこととなりますが、足がかりとなるアドバイスをいくつかさせていただきます。

1. 自分から動きましょう

室蘭工業大学に限らず、大学では何事においても「自ら動く」ことが重要です。これは社会人になってからも必要とされることです。「講義」・「演習」・「実験」などで得た知識を足がかりとして、そこから発展する内容についても理解を深めてください。「口を開けて待っていれば何でも教えてもらえる」、「指示してもらえる」ということはありません。

2. 友達をつくりましょう

優れた能力を持っていても他者に伝えることができなければ、自己満足で終わってしまい、やってきたことが「無意味なこと」になってしまいます。どのような職場でも「チーム」で動きます。いくら能力が高くてもコミュニケーションの取れない「一匹狼」は必要

とされません。在学中に友達を一人でも多くつくってください。「講義で隣の席に座った」、「実験で一緒のグループになった」など、友達をつくる・増やすチャンスはいくらでもあります。そのチャンスをうまくつかんでください。そして、勉学に支障のない範囲で友達と遊んでください。また、サークル活動やアルバイトなどを行うことで、先輩や後輩とのコミュニケーション能力も高まります。

3. 幅を広げましょう

1年次は学科単位で、2年次からは専門性を高めたコース単位で講義等を受講することになりますが、専門的な知識・技能の習得だけでは社会人として失格です。入社したら出身が他学科の人、文系学科の人など多様な人たちと一緒に仕事を進めることとなります。その際に他分野の知識等を「ネタ」として少しでも持っている则会話の切り口として役立ちます。副専門科目の受講や他学科の友人・先輩・後輩との接点を有効活用して幅を広げてください。

4. 自分自身を見直しましょう

講義等を受講したら遅滞なく「何ができるようになったのか」を確認してください。これを怠ると次に進んでも理解することができません。4年後、運良く卒業できることになったとしても、何ができるようになったのかわからなければ高校卒業時から進歩していないことと同じです。無駄な4年間となってしまいますので、自分自身の能力を定期的に見直してみてください。講義中や講義直後では「わかったつもり」になっていることが多くあります。予習をしてわかりづらいところがあったら講義等で理解できるようにするのはもとより、復習などの形で見直しをして、「わかっていなかったこと」が出てきたら、「どこまでわかっていて、どこからわからないのか」をしっかりと把握した上で友人に相談したり、教員に質問してください。お待ちしております。



これから新たな道を歩みだすあなたへ

情報電子工学系学科長

教授 岸上 順一

昨日まで送ってきた日々が、今日に続き、明日につながるはずだと何の疑問も持たずに思っていないだろうか。これまではそうであったかもしれない。それは親が細かく面倒を見てくれ、学校では先生が勉強の仕方から方向性まで示してくれたからだ。また日本全体も大きな判断をしなくても、そんなに悪い方向には行かないはずだと信じ込んでいる人が多かった。だから大学に入ってもこれまでとあまり変わらず毎日が過ぎていくのではと漠然と思っていないだろうか。

でも昨今の事件や世の中を見ていると、その迷信がそろそろ限界に来ていると気づいたのかもしれないと思う。それは政治的な話、あるいは経済的な話に限定されたことではない。情報の世界、あるいは物理や様々な学問の領域における動きは、10年前に提唱されたSingularityの現実味を顕在化させる方向に進み、いよいよ科学の世界が真実の追求からサステナビリティの追求へと移りつつことを予感させる。こんな刺激に満ちた時代がこれまでにあっただろうか。

一方、毎日のニュースの中に心閉ざしたくなることがあると多いことだろう。いよいよ我々は殻に閉じこもることをやめ、積極的に飛び出す時期を迎えたのだと思う。なんか変だなと思うことがきつとある。自分だけがそう思っているのかなと今まで封をしてきたのかもしれない。でも今、その封を破ってすべての常識だと思われていたことを疑い振り返ってみよう。案外身近でこれ以上の進展はないと思込んでいたことが、思わぬ新たな発展をすることがある。

インターネットはすべての価値観を逆転させるだけの力を持っている。急速に進んだスマホを中心とする新たな文化と呼んでもいいかもしれない動きに、我々第一世代の大人たちはPCを抱えながらうろろろとしている。文章を書くのはやはりキーボードだよねと、

その前の時代の大人が、「文章はやはり紙と鉛筆でしょ」と言っていたような、同じことを言っている。一昔前なら電車に乗ると大きな新聞紙をラッシュの中で読んでいたお父さんが、今電車に乗ると一斉にスマホを触りだす若者を見て嘆いている。

一時の流行とその底に力強く変わらず弛まぬ流れを見分けることが今要求されている。どうしてSteve Jobsはあれだけ新たなわくわくするものを連続的に出すことができたのだろうか。google glassやbig dataなどがどうして市民権を得ることができなかったのだろうか。そこには評論家ではない、しっかりと技術とビジネス、学問に根ざしたデータサイエンスの心が要求されている。大学に今、要求されているのは表面的な流れを読むことではなく、基礎を勉強して深いところで起こっていることを読み解き、その方向性を予想し、それが本当に人類の役に立つのであればいち早くビジネスにすることではないだろうか。

与えられるものをこなしているうちは疲れることが多い。不満も文句も出がちだ。でもそれを一歩乗り越えてしまい、自分が新たな道を切り開けるようになるとなんと気持ちが軽く、晴れ晴れした気持ちになれることだろう。この二つのフェーズの差はほんのわずかしかない。もう一歩踏み出し、助走をつけ跳んでほしい。幸か不幸か、日本は高齢化、ゼロ金利をはじめとする資本主義の矛盾、自然災害への対応など世界の最先端を進まされている。これを次の世界へつなげられるのはあなたたちだ。いろいろと悩むことは多いかもしれないが、でもぜひ跳んでほしい。Look if you like, but you will have to leap!



新入生の皆さんへ

男女共同参画推進室女性研究者支援ユニット

暮らし環境系領域 特任教授 貞許礼子

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。室蘭工業大学では、皆さんが性別に関わらず大学生活を快適に送れるような環境整備を目指して、男女共同参画推進（ダイバーシティ推進）に取り組んでいます。特に昨年度からは、教育・研究1号館A331室に「女性研究者支援ユニット（UFR）」を開設し、学生や教職員からの各種相談を受け付けています。年2回発行のニューズレター「ダイバーシティ通信」の発行のほか、学生向け「キャリア形成のためのランチセミナー」などを企画・開催しています。

セミナーのご案内

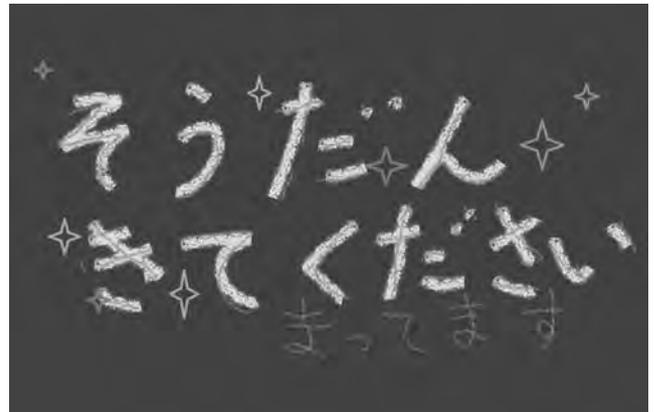
昨年度のランチセミナーは6月が「大学院で身につけたことは仕事と子育てにどう活かされているか?」、10月が「仕事に活かされている大学院時代の経験」というタイトルで、講演内容もお弁当も好評でした。今年度は3回開催予定です（4月、6月、10月で調整中）。詳細が決まりましたら、ウェブページや学生食堂のテーブル三角ポップなどのご案内しますので、ぜひご参加ください。

A331室のご案内

女性研究者支援ユニット（UFR）A331室では、本の貸し出しもしています。いろいろな大学で様々な立場で学生と接してきた中で感じた、「私が学生るとき、こんな本を紹介してくれたら良かったのに」という観点から選んだ本と、男女共同参画推進関連の本（妊娠・育児・介護など）、LGBT関連の本もあります。私にとって室蘭工業大学は、5つめにたどりついた大学です。学部から博士課程まで10年間通った東京大学（博士課程は普通より1年長くかかりました）、2年間の留学のうち11ヶ月を過ごしたテキサス大学、北海道大学、お茶の水女子大学（そのあと2回目の北海道大学）、そして室蘭工業大学です。化学科の博士研究員として過ごしたテキサス大学では、英語を母語としない大学

院留学生むけの英語コースにも参加してみました。ここでは、英語のレポートや論文の書き方、剽窃や盗用にならないために気をつけること、文献引用の仕方、スタイルガイドの大切さなど、多くの日本の大学教育では十分に教えることができていない事柄を、全員にわかりやすく教えていて感動したことを覚えています。そのときに会った本のうちの一冊（の改訂版）The Bedford Handbook Ninth Edition（Diana Hackerほか）Bedford/ St. Martin'sもそろえました（大学図書館にも入れてもらいました）。ぜひご利用ください。A331室の貸し出し・閲覧用図書のリスト抜粋は、本号のInformation 52ページにあります。全リストの最新情報はウェブページで随時更新予定ですのでこちらをご覧ください（http://www.muroran-it.ac.jp/ge_ufr/books.html）。

本学は工業大学なので男女共同参画推進はまだ遅れています。皆さんが大学生活を送っていく中で、困ったことや気づいたこと、これはどこに相談したらよいかと迷ったときなど（男女共同参画とは関係ないかも?と思うことでもよいです）、ぜひお気軽にUFRまでご相談ください。





室蘭から世界へ

全学共通教育センター ひと文化系領域

准教授 ゲイナー・ブライアン・ノーリッグ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

入学したてで、室蘭工大のことは右も左もわからない状態だとは思いますが、ここで皆さんに考えていただきたいことがあります。それは、別の大学へ行くということなのです。

要するに、みなさんにぜひ海外留学について考えてもらいたいのです。

2011年ベネッセ海外進学サポートセンターが、海外留学を経験した570人の大学生にアンケートを実施しました。アンケート調査によれば、「留学経験は社会人生活においてメリットになったか」という質問に対して、「メリットになった」と答えたのは94・7%。

アンケートでは、「留学した理由」に「外国語を話せるようになりたかった」という回答がトップに挙がっています。英語の習得は最重要課題に違いないのですが、もっと大切なことは「英語を学ぶ」のではなく、「英語で学ぶ」ことです。専門分野を英語で学んだ経験は、社会に出たときに必ず武器となります。なぜなら、グローバル社会において問われるのは、「英語を使って何ができるか」ということだからです。

語学力に加えて、社会で必要な「コミュニケーション力」が鍛えられるのも海外留学の大きな魅力でしょう。アンケート調査でも、留学で身についた力として「英語力」よりも「コミュニケーション能力」が、わずかな差ながら上位になっているのが印象的です。

海外の大学では、常に自分の意見を求められます。言葉の壁、文化の壁に直面しながらも、自分の考えをていねいにきちんと伝えていく作業は、社会で求められる粘り強いコミュニケーション力を養う訓練にほかなりません。

『異文化理解力』を深めよう！

留学先では、さまざまな国からやって来た留学生が学んでいます。特にアメリカやオーストラリアの大学には、世界各国から多くの留学生が集まってきます。こうした仲間との出会いも、海外進学の大魅力の一つです。

アンケート結果を見ると、「留学で身についた力」として最も多くの方が挙げたのは「異文化理解力」です。日本にはおおよそ経験することのできない多様な価値観との出会い。それは、幅広い視野を養うと同時に、相手の考え方を尊重し、受け入れる姿勢を育ててくれます。また、異文化との接触によって、自国について、自分について深く考える機会を得られることも大きなメリットです。日本を離れたことで、日本に対する認識を新たにしたいという経験は、多くの留学経験者が持っているものです。

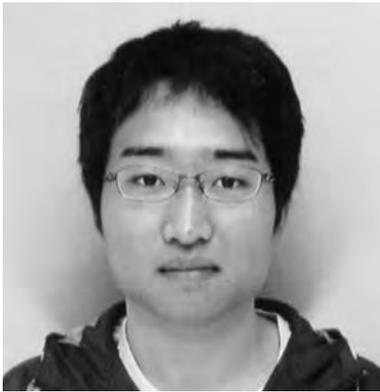
さらに、世界各国からの留学生との交流によって、人的ネットワークを築くことができるのもすばらしいことです。世界中に広がる友情の輪が、今後の人生において、かけがえのない財産となることは間違いありません。

『人間力』を高めよう！

大学の授業によって培われる論理的思考力、表現力、さらには自発力など。これらの力を総合すれば、あらゆる問題に率先して取り組む勇気を生み出すに違いありません。慣れないことも多い海外生活では、自発力、ストレス耐性力、柔軟性などが鍛えられるでしょう。こうした、いわば「人間力」とでも言うべき大なる魅力を付加してくれるのが、海外留学のメリットです。

『社会人に求められる基礎力』を身につけよう！

企業が求める人材像はそれぞれ異なりますが、基本的に持ち合わせてほしいと願う素養には、そう違いはないはずです。海外の大学は、こうした基礎力を養うチャンスが豊富にあります。「自分に秘められた力を開拓し、それをさらに高めていく」、無限の可能性が広がる世界に、今こそ飛び出しましょう！



「目指せ江ノ島」

機械航空創造系学科4年

ヨット部 大原 伸

こんにちは、ヨット部第50期主将の大原です。まずは皆さんにヨット部の活動を紹介したいと思います。そもそもヨットとはなんなのでしょう？ 普通の人に聞くと、「あの手で漕ぐやつでしょ」と言われることが多いのですが、そうではありません。ヨットは簡単に言うと帆に風を受けて、その力だけで船を進める、自然を相手にしたスポーツです。私たちはそのヨットの中でも小型で2人乗りの470級という種類の船に乗っています。普段は白鳥大橋付近の海で練習していますが、インカレや国体などといったレースがいくつか開催されるので、それらに参加して速さを競っています。

そんな私たちの全国大会出場体験を紹介します。昨年の11月、全日本470級ヨット選手権大会が神奈川県江ノ島で行われました。9月に小樽での全道選手権で1位になった私たちは、この全国への切符を手に入れました。私は今まで3年間ヨットをやってきましたが、全国大会の経験など無く、初めての事だらけで準備段階から戸惑いましたが、それが逆に新鮮で楽しみでもありました。

まず、往復するだけでも長旅です。行きはフェリーで青森まで行って、そこから車で10時間以上かけて江ノ島まで行き、帰りは茨城からフェリーで18時間くらいかけて北海道まで帰ってきました。フェリーではほとんど寝ていましたが、本当に長かったです（笑）

大会自体は6日間開催され、1日目は船の計測などがありました。周りに比べ格段に船が古い私たちは、計測に合格できるかドキドキでしたが、何とかクリア。残りの5日間でレースが行われました。道内のレースだと、長くても3日間しかやった事がないのですが、全日本選手権となると、こなすレース数が違うので体調管理には気をつけました。また、レースに参加する艇数も道内ではせいぜい十数艇なのに対し89艇で、そ

の半分の45艇が並んで同時にスタートする様子は圧巻でした。レース中は下位集団の艇について行くのがやっとで、自分達のレベルの低さを痛感しましたが、同時に、今までは想像する事しかできなかった全国のレベルを実際に経験して、今後の練習次第では十分手が届くだろうとも感じました。

この全日本選手権に出場して最も得られた事は、全国に対する具体的なイメージです。私たちヨット部は今、全日本インカレで戦う事を一つの目標として活動しています。この目標達成のため、今回得た全国のイメージを元に課題を見つけ、更に細かい目標を立てて確実にステップアップしていく。そうすれば自ずと結果はついてくるだろうと信じ、努力していこうと思います。

さて、新入生のみなさん、知っての通り、ヨットはまだマイナーなスポーツです。大学に入って始めたという人がほとんどです。しかしそれは裏を返せば未経験の普通の人でも上手になれるし、全国だって狙うチャンスがあるということです。もちろんヨットは勝つことが全てではないので、それぞれの楽しみ方があってOKです。ちなみに、今年の全日本インカレは江ノ島で開催されます。

私たちと一緒に

ヨットで風より速く帆走ってみませんか？

ヨットで大学生活を楽しんでみませんか？



本を通した人とのつながり

応用理化学系学科4年

ビブリオバトル室蘭 土田 健斗

1. 「ビブリオバトル」

「あなたは普段本をどのくらい読みますか」と聞かれると、「そんなに読まないです」と僕は答えています。このように聞かれるたびに、人に「読書家」だと胸を張れるには、いったい何冊ほどの本を読めば良いのだろうかと思ってしまいます。しかし、「本は好きですか」という問いであれば、「大好きです」とはっきりと言えます。実は、こう答えることができるようになったのはつい最近で、ちょっぴり誇らしく思っています。なぜなら、これは、僕が室蘭工業大学に入学し、「ビブリオバトル室蘭」というサークルに参加したことによって得ることのできた、大きな革新だからです。さて、「ビブリオバトル」という聞きなれない単語が登場したので、まずはその紹介をします。

「ビブリオバトル」とは、本を通した書評コミュニケーションゲームです。勝敗の決め方は、「自分のおすすめの本を紹介し、参加者がその中で一番読みたくなった本を決める」というシンプルな方法です。現在、「人を通して本を知る、本を通して人を知る」、「読書をスポーツに」をモットーに、全国各地で老若男女が楽しんでいます。このように、定型文のような紹介をしましたが、おそらくイメージができない人がほとんどだと思いますので、Youtubeなどでイベントの動画を是非ご覧になってみてください。

ビブリオバトルにはたくさんの魅力があります。例えば、「毎回、読んだことのない素敵な本が紹介される」、「プレゼン能力が向上する」、「自分が読んだ本をさらに好きになる」、「勝ったら嬉しい」などなど、人にとってそれぞれです。その中でも、僕が一番好きな点は、「様々な人と繋がることできる」ということです。この魅力がキッカケで、僕は「ビブリオバトル室蘭」というサークルに所属するようになりました。

ここで、ビブリオバトルを通して得られた繋がりを一つ紹介します。僕たちのサークルは、室蘭の街で年間3回ほどビブリオバトルのイベントを開催しています。次第に、イベントに何度も参加してくれる人達と、本の話を通して仲良くなっていきました。いつしか、

一緒にビブリオバトルのイベントを開催するようになり、それ以外のことでも交流するようになりました。

2. 全国大会

こうした繋がりを経て、僕は昨年のビブリオバトル北海道予選を勝ち抜き、全国大会へ出場することができました。

この全国大会は、各地の予選を勝ち抜いた三十名以上の学生が、京都で戦いました。僕もとっておきの本を用意して勝負に挑んだのですが、力が及ばずに敗れてしまいました。正直、悔しい思いもありましたが、一人一人の渾身の一冊が紹介されていくうちに、その気持ちも次第に薄れていき、全ての発表を聞いた後は、満足感でいっぱいでした。同時に、全国大会という場でのビブリオバトルは、将来において大きな自信になると感じています。

大会後、出場者中心の懇親会が行われたのですが、紹介した本の話を中心に大いに盛り上がりました。そこで出会った人達とは、今でも連絡を取り合っており、お互いの近況報告や、サークルでの経験を活かした合同イベントなどの開催も計画しています。

3. 新入生へのメッセージ

改めて、大学生活を豊かにしてくれるものの一つは、たくさんの素敵な人との出会いであると感じました。これらの出会いは、僕に刺激を与え、可能性を広げ、自身が成長する手助けをしてくれます。あなたも、大学生活の中で多くの人と出会い、そこから生まれる繋がりを大切にしてください。もちろん、それを楽しむことを忘れずに。

最後に宣伝です。冒頭でも述べましたが、僕は決して読書家ではありません。しかし、僕にとっての本とは、自分と人とを繋いでくれるコミュニケーションツールという面を持っています。だからこそ、本が大好きになりました。「本」を好きになりたい、人と繋がりたいと思っている人は、ぜひビブリオバトルに挑戦してみてください！



お気に入りの座右の銘を見つけよう

前田 純治

(元しくみ情報系領域 教授)

学生（特に新入生）の皆さんへ。大学時代は、若さと豊富な自由時間が両立している貴重な時期であり、皆さんの意欲次第で大抵のことは実現可能です。大学時代をどのように過ごすかは、就職をはじめ皆さんの今後の人生に大きく影響してきます。皆さんには、勉強し卒業するのは必要不可欠として、卒論や修論で研究の面白さや奥深さを体験し、多くの友人を作り、部活を楽しみ、バイトを経験し、資格や語学の習得に挑戦し、多方面な読書を嗜み、と様々な可能性にチャレンジして、4年間（または6年間）で自分自身に大いに付加価値を付けて卒業して頂きたいと願っています。

ただ現実にはネット、テレビ、ゲームなど魅力的なものが数多くありますので、「選択と集中および自己コントロール」によるバランスの取れた生活が重要になるでしょう。そのときに自分なりの座右の銘（生活信条とも言います）を持っていると案外役に立つかもしれません。皆さんには自分のお気に入りの座右の銘を見つけてみることをお勧めします。以下に私が興味を持った座右の銘の一端を紹介するので、皆さんの参考にして頂ければ幸いです。

Think globally, act locally.

(グローバルに考え、ローカルに行動せよ)

この言葉は、「地球規模の視野で考え、地域視点で行動せよ」というほどの意味です。この言葉に関連して良く知られている事例は、日本のガラパゴス携帯です。日本の携帯電話は、有名通信会社が日本国内市場の高い機能要求に基づいた独自の進化をとげている間に、世界標準とは別の発展をしてしまい、結果的に世界のスマホ市場で遅れをとってしまったという現象です。

現代は個人レベルにおいても視野をできるだけ広く保つことが大切です。今はインターネットのお陰で楽に国境を越えることができますが、それでも私は皆さんに、機会があれば一度は海外に行って異文化を体験し国外から日本を見ることをお勧めします。そのことは皆さんの視野を確実に広げ、価値観の多様性を教えてくれ、日本の良い所も悪い所も気づかせてくれるこ

とでしょう。本学の語学研修に参加することや、留学生と話してみることが第一歩になるかもしれません。

Stay hungry, stay foolish.

(常に貪欲であれ、常に愚直であれ)

スティーブ・ジョブスがスタンフォード大学での卒業式のスピーチで、全地球カタログ誌から引用したことでも有名になった言葉で、「現状に満足せずに、自分の信じる道を行きなさい」というほどの意味です。ジョブスは、大学を中退し、自分で作った会社を解雇されながらも、世間の常識や既成概念にしばられることなく自分の信じる道を追求し、ついに世界のスマホ市場で成功したアップル社のiPhoneを開発しました。その設計思想はガラパゴス携帯とは正反対であり、余分な機能を極力そぎ落としてユーザの使い易さを最優先させたものでした。ジョブスは、禅の影響を強く受けシンプルな生き方を好みました。彼のスピーチは日本語字幕付きでネットで見るすることができます。

Be here now.

(今、この瞬間、ここに生きよ)

昔から様々に語られてきた言葉であり、「過去の出来事にとらわれることなく、未来を不安視することなく、今現在のここだけに集中せよ」というほどの意味です。この言葉は自己コントロールと関係が深い言葉です。

我々は現在に生きているはずなのですが、過去の経験や未来の想像について語ることは得意な反面、今この瞬間に集中して生きることは難しいことかもしれません。前述のスピーチにおいてスティーブ・ジョブスは、「毎日を生きた最後の日だと思って生きよう。あなたの時間は限られているので無駄に他人の人生を生かないように」とも述べています。近年流行語大賞になった「今でしょ!」は、まさに現代版のBe here nowと解釈でき、ともすれば物事を先延ばしにしがちな我々の背中を押してくれる言葉と言えましょう。

皆さん一人ひとりの学生生活が、充実した実り多いものになることを願っています。

私の 推薦図書

『予知夢』

東野 圭吾 著
文藝春秋

福山雅治氏演じるガリレオがトリックを暴き、事件の謎を解いていくテレビドラマ「ガリレオ」の原作です。この「予知夢」は原作シリーズ第二作目であり、同三作目の直木賞受賞作で、のちに映画化された「容疑者Xの献身」も含めて、ご存知の人も多いのではないのでしょうか。「予知夢」は、5つの話から成る短編小説集です。第5話「予知る(しる)」では、電気粘性流体(E R流体)とよばれる機能性流体が登場します。トリックの重要なキーになっているのですが、それはさておき、このE R流体、通常は液体として、電気を流すと固まり固体として振舞う面白い性質を持っています。増渕雄一著「おもしろレオロジー」の第1章では、原理や応用例が紹介されているので、併せて御覧になってはいかがでしょうか？E R流体は、固体微粒子が液中に分散した(きれいに混ざった)流体ですが、小さな粒子を液体中にきれいに混ぜるのは簡単なようで意外と難しい操作です。

『基礎粉体工学』

日高 重助、神谷 秀博 編著
日刊工業新聞社

粉は、日常生活の中で至るところに存在しています。粉とは固体微粒子の集合体のことであり、学術的には粉体と呼びます。この著書は、粉体に関する学問(粉体工学)の基礎から応用まで広範な領域を扱っており、学部学生や大学院生が粉体工学を本格的に勉強するときには是非とも活用してほしい本です。1981年出版の三輪茂雄先生著「粉体工学通論」は、粉体工学を初歩的な内容から分かりやすく概説した教科書として親しまれてきました。「基礎粉体工学」は、「粉体工学通論」の方針を踏襲した著書であり、また、粉体工学の最近の進展も加味した本となっています。先に登場したE R流体は、固体微粒子が液中に分散した流体ですが、液体中に粉体がきれいに混ざるとは、どんな現象なのか。この本を読んで考えてみてください。今回紹介した二冊の本、「予知夢」と「基礎粉体工学」。一見何の関係もなさそうですが、無理矢理関連付けてみました。

くらし環境系領域 准教授 山中 真也

『いしいひさいちー仁義なきお笑い』

いしいひさいち他 著
河出書房新社

小学生の時、プロ野球中継で観た広岡達三監督に惚れ、ヤクルトスワローズのファンになった。やがて、「ヒロオカ」が頻出している『がんばれ!!タブチくん!!』にはまり、『となりのやまだ君』で育った。そして現在、『ののちゃん』に見送られて出勤している。

そんなある日、ひとつの書評が目に入った。衝撃が走った。素晴らしい!こんなものが世に出たなんて。これを買わずしてどうする。

しかし、嬉々として手に入れたものの、開けることができない。もったいない。もったいなさすぎる。開けた瞬間から消耗が始まってしまうかのような感覚。結果、それは子供の宝物のように飾り置かれた。

ほどなくチャンスが到来した。それはインドネシア出張。直行便で8時間。日頃、こんなにまとまった時間はない。ここだ。

離陸のGがかかる時、それは膝の上にあった。安定飛行になり、それを開いた。その瞬間、多面的に展開される、いしいひさいちワールドに落ちていった。いしいひさいちは、4コマ漫画界の鬼才である。

『北海道民のオキテ』

さとうまさ&もえ 原作
KADOKAWA / 中経出版

私は神奈川県出身。夫は東京から出たことがない。親戚も関東地方の人間ばかり。そんな2人が、私の本校着任を契機に、突如、北海道に住むことになりました。気候も風習も違う。さてどうしたものかと思っていた、そんな時、目に留まったのがこの本です。タイトルに「オキテ」とあるので堅苦しい印象を受けがちですが、本書は福島市出身の「まさ」が、留萌市出身の「もえ」との結婚をきっかけに、見て聞いて体感した北海道ならではの風習や習慣を漫画仕立てで紹介したもの。

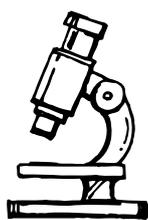
しかし、漫画といっても侮れず、日常生活から方言、地名、冠婚葬祭に至るまで、広く浅く紹介されており、北海道初心者への導入書としては、まずまずの優れたもの。この本を読んでいたために、転居後に思わずに済んだことも数多くありました。

また、学生との飲み会でこの本を投下。道民同士でも侃々諤々。盛り上がること必至です。

くらし環境系領域 准教授 内海佐和子

ここで紹介されている本は図書館でも所蔵しています。

私の研究テーマ



自動的に環境計測を行う移動走行ロボット

博士前期課程

生産システム工学系専攻2年 大谷 充人

現在、環境調査を目的とした研究は世界的に主要なトピックの1つになっています。環境調査の対象となるような場所の多くは、広大で整備されていない荒れた土地（図1）になっているため、人力での調査には多大な労力や時間、費用を要します。これに加えて、環境に起因する有害物質の発生やケガの危険性なども懸念されます。

私たちの研究室ではこのような問題を解決するために、環境調査を目的とした自律走行車両（図2）の開発を行っています。この研究は大きく分けて2つの部分に分けられます。1つは自律走行車両の走行制御に関する開発。もう1つは環境調査に関する部分になります。先に挙げた自律走行車両の開発は過去の研究ですでに達成されており、自律走行制御は実用段階になっています。そして私はもう一方の環境調査に関する研究を行っています。

本研究では地表の温度を環境調査データとして使用します。そのため自律走行車両にサーモカメラを搭載し、計測を行いながら車両を走行させます。取得した温度データを走行制御システムから得た位置情報と統合することで、温度データの場所が特定された環境調査データを作成することができます。環境調査データ



を分析することにより計測地点一帯の温度分布が分かります（図3）。計測環境内の温度分布が確定することで、詳細な調査が必要な場所を見極めることが可能になります。

現段階では温度分布の取得までが達成されています。現在は計測結果の見極めを行うために、比較対象となる計測結果の予測値の作成を行っています。予測値の作成には確率モデルを利用する手法や、過去データを統計的に利用する方法などがあり、最適な予測方法の検討を行っている最中です。



図1



図2

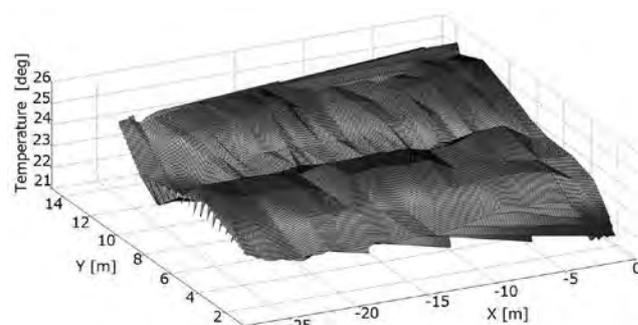


図3

紹介

新任教員

しくみ情報系領域 助教

川村 幸裕 (かわむら ゆきひろ)

2014年8月1日付けで環境調和材料工学研究センターに助教として着任いたしました。博士研究員として室蘭に赴任した2011年4月から、早4年が経ちました。室蘭は災害も少ない上に夏涼しく、室内は冬も暖かかて過ごしやすい土地かと思えます。これほど室内で過ごすのに向いた環境を持った土地は珍しいので、学生とともに研究・勉強に励みたいと思っています。

磁性・超伝導材料の研究を行っており、特に1万気圧を超える圧力を物質に加えて結晶格子を変化させたときの磁性・超伝導特性を調べています。

室蘭に赴任してからは構造解析も手がけており、大学院生向けの授業、先進マテリアル工学コースのプレインターンシップを担当します。プレインターンシップでは単結晶構造解析装置を用いた精密構造解析を通して、学生の皆さんが物質・材料の基盤となる構造を理解・解明することで、物質・材料の性能向上のための一助となれば幸いです。



もの創造系領域 助教

中田 大将 (なかた だいすけ)

2014年10月1日付けで本学航空宇宙機システム研究センター (APReC) 助教となりました。専門分野は航空宇宙推進機全般で、これまでに固体ロケット、液体ロケット、ハイブリッドロケット、ジェットエンジン、宇宙用イオンエンジンの運用経験があります。ロケットやジェットエンジンの実験を毎日気兼ねなく(?)出来る本学の白老実験場は国内の大学でも非常に稀有な存在で、他大学や重工メーカー、JAXAとの共同実験も頻繁に行っています。

工学系の大学院進学率は年々高まっており、本学でも三割以上の学生が大学院に進学します。教科書にも無い未知の事実を追及し、世の中に無いモノを創造するのが大学院における研究活動です。大学院に進学された学生諸氏は受け身になること無く積極的に調べ、実際に試し、教員や仲間と議論し、何らかの結論を導くという一連のプロセスを体得してほしいと思います。



くらし環境系領域 准教授
内海 佐和子 (うつみ さわこ)

2014年11月1日付で着任致しました。学部では、建築社会基盤系学科建築学コースを担当します。

専門分野は建築計画および都市計画で、主にベトナムをフィールドとし、伝統的町並みの保存活用および観光地化に伴う景観の変容、また、集合住宅の平面計画の研究などに取り組んできました。そのため教育研究のみならず、これまでの経験を活かし、グローバル社会に対応できる人材育成にも役立てればと思います。さらに、所属学科で唯一の女性教員であり、企業勤務経験もあることから、女子学生のキャリア教育にも注力し、室工大女子力のUPに貢献できれば嬉しく思います。

着任後1ヶ月もたたないうちに雪が降りました。温暖な気候の神奈川県藤沢市出身のため、北海道の冬は未知の世界ですが、早く冬の北海道も満喫できるようになりたいと思います。

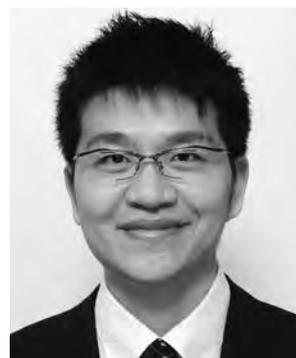
また、華道とフラワーアレンジメントの心得もありますので、将来的には学科の枠を超えた交流もできればと思います。これから、どうぞよろしくお願い致します。



しくみ情報系領域 助教
董 晃 雄 (とう めんゆう)

2014年11月より室蘭工業大学に赴任いたしました。前職は(独)情報通信研究機構にて新世代ネットワークの研究開発に従事しておりました。研究分野はワイヤレス・ネットワーク、クラウド・コンピューティング、サイバー・フィジカル・システムなどです。室蘭は、今まで住んだことのある会津若松、カナダのウォータールーと気候もよく似ており、静かな町で研究に没頭するにはもってこいの場所です。近頃センター試験の監督業務も経験し、研究所と縁のない業務に携わり、大学にいる実感が日々強くなっています。

私は上海生まれの日本育ち、そして北米での留学の経験から、真の国際人であると思っています。今後日本の大学はグローバル化が進み、留学生が今まで以上に増えていく流れを感じます。自分の経験と特徴を活かしながら、大学のグローバル化、学生の研究、教育の両面で本学に貢献していく所存でございます。皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



紹介

新任教員

くらし環境系領域 准教授

高瀬 舞 (たかせ まい)

2015年1月1日付けにて着任いたしました。これまでの人生において北海道外に住居をおいたことはなく、むかわ町に5年、静内町（現・新ひだか町静内）に10年、実家を離れ札幌に16年おりました、このたび室蘭へ参りました。極寒の季節の移動にもかかわらず、雪も少なく同じ道内でもこうも違うものかと、わくわくしております。研究では「光」をキーワードに分子を「見る」ところから、ものを「創る」ところまで幅広くおこなっており、これからもこのスタイルは変えずにいきたいと思っております。材料創成を通し、物理化学的なアプローチによる分子合成や、光触媒をもちいるエネルギー問題への取り組みなどへチャレンジしていきたいと考えております。もちろん、先生方とともに学び成長してくれる学生さんとともに（私も成長します!）、世の中を幸せにできる科学技術の創成を目指し頑張ります。どうか皆様のご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。



くらし環境系領域 助教

崔 亨吉 (ちえ ひょんぎる)

2015年1月1日付でくらし環境系領域の助教に着任いたしました、崔亨吉と申します。私の出身は韓国で、2009年10月に来日し、2013年に東京大学大学院工学系研究科博士後期課程を修了し、博士（工学）の学位を取得いたしました。学位取得後は、同大学で特任研究員として研究を行ってきました。私はこれまで、コンクリートにおいて必然的に発生する収縮を低減するための技術開発や廃棄物の有効利用技術および建築材料のリサイクルなどの分野に興味を持って研究を行ってきました。本学でも建築材料の性能評価および高性能化技術、建築物の長寿命化技術などの関連分野の研究をまじめに行い、地域社会および本学の発展に寄与できればと思っております。

本学は、学生、教職員の活気にあふれ、研究、教育へのやりがいと大きな期待を感じさせてくれ、本学で研究・教育に携われることを非常にうれしく思っております。自然に囲まれた緑豊かなキャンパスでの教育・研究を通じて本学の発展に貢献し、同時に自分の学問分野を確立していきたいと思っております。皆様のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



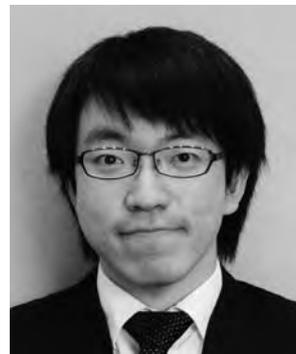
もの創造系領域 助教

佐々木 大地 (ささき だいち)

佐々木大地と申します。2015年1月1日付けで、もの創造系領域助教に着任致しました。どうぞよろしくお願ひ致します。研究は、金属の腐食防食を基盤とした新たな機能性材料の合成技術について取り組んでいます。

私は2014年3月に本学博士後期課程生産情報システム工学専攻を修了し、4月からは東京にて防食関係の会社に勤めていました。縁があり、9か月間の東京生活を経て室蘭の母校に戻ってきたわけですが、「やはり夏の激しい暑さよりも、冬の厳しい寒さの方が体にじっくり馴染むなあ」と感じる日々を過ごしています。私を覚えてくれている学生も多く、廊下や研究室で「大地さん、こんにちは～」と挨拶してくれると大変嬉しく思います。学生みんな、どうもありがとう。

私自身が本学の学生であったという経験を生かし、教員と学生両者の立場から教育・研究について考えられる人間になりたいと思います。何卒よろしくお願ひ致します。



らんらんプロジェクト レポート

第54回工大祭 ごみ削減プロジェクト

機械航空創造系学科 3年 吉本 陽

私たち工大祭実行委員会は、2014年9月20日、21日に行われた工大祭にてごみ削減プロジェクトを行いました。このプロジェクトは工大祭で発生するごみを削減し、正しくごみを分別することで地域環境の保全に貢献し、工大祭に参加してくださった方々に環境問題について少しでも意識してもらうことを目的としています。

ごみ分別の強化のためにまず行ったのが、工大祭の露店で使用する容器のバイオマス素材への統一です。露店では大量の使い捨て容器を使うため、各団体で異なる容器を使用した場合、様々な種類の容器を正しく分別するのは容易ではありません。そこで、すべての団体に同じ容器を使用していただくことで、ごみの分別を容易に行えるようにしました。さらに、バイオマス容器は一般の紙素材よりも焼却処分の際に発生する二酸化炭素が少ないため、同時に二酸化炭素の排出を抑えることもできました。次に行ったのが、ごみ分別作業員の配置です。ごみ分別作業員には、工大祭に参加した団体の方々にご協力をいただきました。指導員の皆様のおかげで、ごみ分別の最終確認が非常に楽になり、ごみ捨てもとてもスムーズになりました。指導員は来祭者の方々に対してとても助かる存在であったと感じました。

ごみの削減のために行った活動もあります。それが、生ごみの堆肥化です。堆肥化処理装置を使用することで調理中に発生する生ごみを堆肥化し、減量をしました。また、堆肥化処理装置とそれについてのポスターを工大祭本部横に設置し、このプロジェクトのアピールを行いました。これにより、堆肥化処理装置で生ごみを堆肥化する様子を来祭者の方々に見ていただくことが出来ました。これらを見て、ごみや環境のことに考える機会に少しでもなりましたら幸いです。

ごみの分別や減量などについて、ごみ削減プロジェクトはある程度の成果を上げることができました。一方、このプロジェクトにはまだまだ改善の余地がある

と感じました。最も改善する必要があると感じたのは、分別の際にバイオマス容器を燃えるごみとは別に分別していることを来祭者の方々に十分にアピールできていなかったことです。ごみ分別については、分別作業員の方々の協力もあり正しく行われていましたが、来祭者の方がごみを捨てる際、これは燃えるごみではないのか？ と疑問に思っているところをたびたび目にしました。せっかく行っているプロジェクトが来祭者の方々に認知されないというのは、とてももったいないことです。本部横にはポスターを展示していますが、それだけでなく、各ごみ場の設置場所にこのプロジェクトのアピールとなるものを展示する、口頭での説明やイベントを行うといったことで来祭者の方々にさらにアピールができれば、もっとたくさんの方に、環境問題について考えてもらえと思いました。

最後に「第54回工大祭 ごみ削減プロジェクト」へご協力してくださったすべての方々に感謝の言葉を申したいと思います。本当にありがとうございました。



ごみを堆肥化すれば体積が減り、再利用する事もできます。

らんらんプロジェクト レポート

工大祭実行委員会企画 — 科学工作教室in工大2014 —

機械航空創造系学科 3年 小檜山 稜 太

2014年9月20・21日に開催された第54回工大祭にて、全年齢を対象とした「工大祭実行委員会企画 — 科学工作教室in工大2014—」を実施しました。この科学工作教室の目的は、地域住民の方々を対象として工学や物理・化学等に興味・関心を高めてもらい、未来の科学者・技術者の卵を育てると同時に、私たちが日々学んでいることを知ってもらう事によって、より工大への理解を深めてもらう事でした。

具体的にどんな事を行ったのかというと、例年行っている物として「液体窒素の公開実験」や「スライム展示・工作」、今回追加したものとして「光の折り紙作り」「ダイラタンシー体験」「ヘロンの噴水体験」などがありました。また、それら原理や仕組みをスライドにしてスクリーンに放映しました。機器分析センターの協力で今回も実施できた液体窒素の公開実験では今回新たに空き缶を使った実験を行いました。空き缶の中に液体窒素を入れると缶の表面に液体酸素が付着します。それをたくさん集めて来場者に見てもらいました。普段見ることがない酸素の蒼い液体に子どもたちは興味津津でした。昨年、展示のみだったスライム作りは、今回は要望にこたえて展示だけではなく、工作としても実施しました。簡単そうに見えるスライム作りも実は奥が深く、なかなか理想通りの物にはなりませんでしたが、一生懸命作る子供たちと、サポートする我々学生、優しく見守る親御さんとの協力作業は地域と学校との一体感を高め、新たな交流を生み出した貴重な体験でした。

毎年、科学工作教室は実施してきましたが、今回は今までと違い、展示の数を増やすとともに、より体験型の科学工作教室を目指しました。今回展示したものの多くは、実際に来場者に体験してもらうことができるものにしました。やはり、実際に体験してもらうと、ただ説明するよりもより簡単に理解していただく事が出来ました。何よりも展示物に対する興味関心が何倍にも大きくなるようで、子供たちから「どんなしくみ?」「なにでできているの?」、そして「もっとおしえて!」「ここ(工大)で勉強したい!」との声をたくさん聞く事が出来ました。その声を聞くたびに科学工作教室を実施してよかったと思いました。

今年も、多くの方が科学工作教室へ足を運んでく

ださいました。特に、子供たちにたくさん科学・工学に興味関心を持ってもらうことができました。室蘭工業大学と地域住民との交流を深めることができたと思いますし、なにより未来の科学者・技術者を育てるという点で非常に大きな意味があったと思います。来年度以降も引き続き科学や工学に興味関心を持ってもらえるよう、そして室蘭工業大学への理解を深めてもらえるように、室蘭工大と地域住民とが触れ合い理解し合える機会として、科学工作教室を実施していきたいと考えています。

最後となりますが、このような機会を与えてくれたらんらんプロジェクト、協力してくれた実行委員メンバー、室蘭工業大学職員の皆様、来場していただきました地元地域の皆様、本当にありがとうございました。



らんらんプロジェクト レポート

工大 Broadcasting Project 2014

情報電子工学系学科 3年 中村将之

平成26年9月20日、21日に行われた工大祭にて、工大祭の熱気や盛り上がり聴衆者にそのままお届けしようという「産地直送」をテーマに、室蘭などで聴くことができるコミュニティFM放送局「FMびゅ〜」より、二時間の生放送番組「工大ウォッチ」を行いました。

番組内では工大祭に出店や参加しているサークル・研究室の方にも出演していただきました。出演していただいた「高速流体力学研究室」、「ジャズ研究会」の方には、普段の活動と、工大祭に出店している企画の内容のPRを兼ねてインタビューをしました。また、「ビブリオバトル室蘭」、「写真部」、「アコースティックギターサークル」、「多指族」の方には企画PRを賭けたクイズ企画に出演していただきました。どちらのコーナーでも聴衆者の方にそれぞれのサークルや研究室が普段のどのような活動、研究を行っているのか、工大祭での企画はどのような内容なのかについてよく知ってもらえたと思います。

また、聴衆者参加型企画としてアンケート企画を行いました。アンケート内容は祭りに関連したものにし、工大祭に来ている人たちに直接伺いました。さらに、今年度からの新しい試みとして、アンケートをツイッターでも行い、アンケート結果にも反映させました。ツイッターを利用することで、工大祭には来ることができない人たちの意見もアンケートに反映することができたと思います。

普段の放送では「FMびゅ〜」で三十分の放送を行っていますが、録音放送のため、工大祭での二時間の生放送は出演する部員も不慣れなことが多く、準備に一月以上の時間を費やしました。その結果トラブルもなく、昨年度以上の完成度の放送ができたと思います。また、今回の生放送で通常の放送に生かせる大きな経

験をすることができたと感じています。

最後に「工大 Broadcasting Project 2014」に出演、協力していただいた皆様、本当にありがとうございました。



らんらんプロジェクト レポート

工大フラワープロジェクト

応用理化学系学科 3年 田中 佑汰

小原流華道部では、「工大フラワープロジェクト」と称して学内外でのいけ花展示を行ってまいりました。この活動は、普段触れることのないいけ花の世界を学生の皆さんに知ってもらい、学生生活に彩りを添えること、そして学外の方をいけ花という形でもてなし歓迎することと同時に、学生の活動を知ってもらうことを目的としています。

実施内容としましては、学内で定期的開催される蘭岳コンサートに添える盛花作成に加え、附属図書館での展示、中島商店会コンソーシアムでの展示を行いました。中島商店会コンソーシアムのいけ花展示では、生花店から提供していただいたお花をコンソーシアム内で生けこみ、月1回の展示を行いました。ここでは主に市民の方に学生の活動を知っていただく機会になったと思います。

私たち小原流華道部は、普段は外部からお花の先生を招いてお花を生け、「かたち」と呼ばれる様々な生け方を教わっていますが、展示用の大きな作品など、人に見られることを意識してお花を生けることで部員の技術の向上にもつながりました。また、大きな作品を生けることは大変ではありましたが、見てくれた方々からお褒めの言葉をいただき、とても嬉しかったです。

本プロジェクトにご協力、ご支援していただいた方々へ感謝申し上げます。



らんらんプロジェクト レポート

Illumination Factory 2014 X'mas ～雪のワルツを光にのせて～

機械航空創造系学科 4年 小松 幸司

地域住民の方々に室蘭工業大学をより身近に感じていただきたいという思いから始まったIllumination Factoryは、今回もらんらんプロジェクトの一環として企画させていただきました。電球を大学の正門からN棟までの木々に巻き付け、それを点灯させることで、大学を訪れた方々にイルミネーションを楽しんでいただくというものです。企画スタッフは大学公認サークルStudio催事のメンバーの中から募りました。

今回は点灯期間を12月15日～25日までとし、17:00～21:00の間で点灯をしました。23日～25日にはN404教室を一般開放してイルミネーションを上から見下ろすことができるようにし、N棟ピロティにて温かい飲み物の無料配布を行いました。夜の大学を明るく照らすことができ、地域住民の方も見に来られていました。また今回は、モニュメント前のスペースに電球を巻き付けた手作りツリーを設置することで、イルミネーションに力を入れました。「前回よりももっときれいでいいね」といった言葉などをいただくことができ、喜びと達成感を感じることができました。

また23日の11:00～16:00には体験型企画として「かんたん手作り工作体験」、12:00～と15:30～の2回に分けて別室にて30分間ほど「アカペラコンサート」を行いました。工作体験は小さなお子様でも参加できるようにし、クリスマスにちなんだグッズ作りをしました。アカペラコンサートは、大学のアカペラサークルさんに行っていただきました。こちらもクリスマスにちなんだ楽曲を唄っていただき、幻想的な雰囲気を感じることができました。どちらの企画も評判がよく、来ていただいた方々に楽しんでもらうことができました。スタッフとの会話による交流があり、大学を身近に考えるきっかけになったことと思います。

スタッフ全体としては10月頃から本格的に会議を始め、作業に取り組みました。電球設置は点灯開始日の2日前から行いました。外での作業でしたので、寒さとの戦いでもありましたが、前回の開催は1月だった

ことに比べると、まだ暖かいほうでした。手作りツリーは予定よりも製作に時間がかかり数日遅れての設置になってしまったので、余裕を持った準備の必要性を感じました。また今回は企画が多く、濃いプロジェクトにすることができたと思います。その分、仕事が多くなってしまったので、役割分担の重要性を感じる機会になりました。こういった貴重な体験や経験をすることができ、今後のサークル活動や社会において役立てていきたいと思っています。

最後に、ご来場いただいた皆様、企画スタッフ、ならびに、ご協力をいただいた皆様に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。



らんらんプロジェクト レポート

まちなかライブラリー2014 らんらんプロジェクト実施レポート

博士後期課程 工学専攻 1年 西尾 洸 毅

私たち「まちなかライブラリー」は3年前、室蘭市中島商店会コンソーシアム「ほっとな〜る」中島地区の商店街にあるコミュニティスペース内で、雑誌の閲覧が出来るスペースを整備し、商店街になじみのない若者世代の利用によるまちなかの賑い創出を目的として設立しました。3年前より、らんらんプロジェクトの支援を受けさせて頂き、「ほっとな〜る」改修図面・家具の作成、雑誌の選定を行い、今回は雑誌を収納する本棚の制作、施設入口のサイン制作を行いました。商店街関係者に留まらず、市民の方々と学生がまちづくりについて話し合い、学生が町にできるきっかけになったのではないかと感じました。今回は子育て世代のまちなかの利用促進を目標として、子供とそのお母さんを対象とした企画を提案しました。

具体的には、「ほっとな〜る」での子供の居場所の製作および設置、子供向けの絵本の設置を行いました。子供の居場所の製作にあたっては、子供の利用しやすさを考慮し、扱いやすいダンボールを使用して、簡単な構造としました。実施期間中に、利用状況と施設管理者および利用している子供の意見を取り入れ、デザインを変更しました。デザイン変更にあたっては、扱いやすさよりも見た目での楽しさを重視しました。子供の居場所は利用者意見を取り入れ、施設管理者と協同で製作を行うことで時間をかけながらも、愛着をもっていただくことを心がけました。絵本の選定にあたっては、本学ビブリオバトル部の意見を取り入れながら、4冊を選定しました。絵本は「ほっとな〜る」内で開催されたビブリオバトルでも取り上げられました。これらの企画の実施は秋冬の利用者の少ない時期の実施だったこともあり、まだ目に見えて大きな効果があったとはいえませんが、3年前から重視している若者世代と、今回重視した子育て世代の利用によるまちなかの賑い創出のきっかけづくりになったのではないかと考えています。

最後に本プロジェクトにご協力いただいた学生、市民の皆様、商店街関係者の皆様、「ほっとな〜る」の管理者の方に感謝申し上げます。



仕掛け絵本の設置



絵本の設置の様子



子供の居場所の利用の様子



デザイン変更後

らんらんプロジェクト レポート

2014年度SARDハイブリッド ロケットプロジェクト活動報告

機械航空創造系学科 3年 岡田 空悟

ハイブリッドロケットプロジェクトはSARD内の1プロジェクトです。このプロジェクトは2015年の能代宇宙イベントでのハイブリッドロケット打ち上げを目標に活動しています。

2014年度はその前段階として固体の火薬エンジンを用いた大型ロケットの製作、運用とハイブリッドロケットエンジンの燃焼実験を行いました。

8月の秋田の能代宇宙イベント2014では1メートルほどの自作のロケット「オオハシ」を打ち上げました。機体はパソコンのソフトを用いて設計しました。ボディチューブはGFRPを積層し、接合部はPOMを旋盤で削り作りました。また、発射台も自分たちで設計、製作しました。打ち上げは見事成功しました。

11月には室蘭市内のだんパラスキー場にて「オオハシ」を改良して打ち上げを行いました。打ち上げは成功し、各種センサによるデータの取得にも成功しました。また、この打ち上げは室蘭民報や北海道新聞にも取り上げていただきました。

12月には大阪で開かれた宇宙工学を志す学生たちが集まるUNISECワークショップに参加し、他大学の学生や教授の方と交流し、様々な技術などを学びました。

1月にはついにハイブリッドロケットエンジンを用いた燃焼実験を行い、推力履歴の取得に成功しました。エンジンは酸化剤に気体酸素、燃料にポリエチレンを用いたものです。

2015年度はついに能代宇宙イベントに向けたハイブリッドロケットの製作を開始します。ハイブリッドロケットを運用するためにはより厳しい安全対策や高圧ガスの知識などが必要になってきます。一筋縄ではいけないと思いますが、2015年の能代宇宙イベントでのハイブリッドロケット打ち上げを目指して頑張っていきたいと思っています。

また、SARDでは2014年度から「ハイブリッドロケット」以外に「人工衛星」、「缶SAT&ガチャSAT」の2つのプロジェクトが始動し、2015年度に

はこれらのプロジェクトが製作した缶SATをペイロードとして打ち上げを行う予定です。

最後になりましたが、御協力していただいた北海道大学大学院宇宙環境システム研究室や株式会社植松電機、学生室の方々、本助成プロジェクトに感謝したいと思います。本当にありがとうございました。



写真1 打ち上がる「オオハシ」



写真2 燃焼実験の様子

らんらんプロジェクト レポート

鳥人間コンテスト出場を目的とした 機体製作及びテストフライトの実行

機械航空創造系学科 4年 塩野 経介

私たちは、読売テレビ主催「鳥人間コンテスト」に参加すべく日々活動している団体です。この鳥人間の活動が始まって4年目となり、活動開始時に比べ大きく成長しました。しかし、他団体に大きく遅れをとっており、まだまだ未熟であります。

私たちの製作している機体は翼幅20mほどで、滑空機です。滑空機はプロペラがついていないため、ほぼ高所からの位置エネルギーのみで飛行します。長距離を飛ぶには、翼を大きくし機体全体を軽くしなければなりません。そのため、機体の骨には軽くて丈夫なCFRP（炭素繊維強化プラスチック）を使用しています。この材料はB787にも使われており飛行機に使われる材料としては広く知られています。

今回は、4年かけて設計した機体を実際に作り上げ、テストフライトを行うことが目的でした。鳥人間コンテストは人を乗せて飛ばすものであるため、その機体の安全性を証明しなければなりません。

機体の製作は、部員の全員が初めての経験であったため、予定通りとはいかず何度も予定の見直しを行いました。さらに、実際に組み立てると部品同士の誤差が重なり、スムーズな組立ができませんでした。また、設計側と製作側で意思疎通がうまくいかず、大きな問題が生じたこともありました。このような状況を部員全員の知恵と協力で乗り切り、機体を完成させることができました。

機体のテストフライトに関しては、実際に飛行場で行うための練習を行いました。

機体を台車に乗せ人力で牽引するという方法をとりました。この練習は成功し、機体の運搬と組立のマニュアルを作ることができました。

これらの活動ができたのは、技術職員の方々や大学の先生方、他団体の皆様にアドバイスをいただいたおかげであります。ありがとうございました。次年度以降も宜しくお願い致します。

今後は、機体性能の改善と飛行場でのテストフライト

をしたいと考えています。

3年間の活動を通して、航空機が膨大な技術の塊であると実感しました。また、航空機のような美しい夢を創造することは、並大抵の努力では成しえません。私の後輩達にはこの夢をかなえてほしいと思います。



らんらんプロジェクト レポート

ビブリオバトル室蘭2014

応用理化学系学科 4年 外崎 智巳

「人を通して本を知る、本を通して人を知る」をモットーに室工大サークルビブリオバトル室蘭は活動しています。

ビブリオバトルとは本を使ったコミュニケーションゲームです。5分間で本について語り、簡単なディスカッションタイムのあと、投票を行います。ここで、ポイントになるのは、「本」に対して投票を行う、ということです。ゲーム自体は近年できたものですが、全国大会、そして昨年度は世界大会も行われるなど、大きな広がりを見せています。

ビブリオバトルの面白さは、投票に勝つ、すなわちチャンプ本を獲得するというゲーム性の他に、様々な方々とコミュニケーションを取ることが出来る、という面があります。昨年度も引き続き、地域の方々との交流を持つことのできるようなイベントを開催しました。それは、工大祭の参加と、「第10回ビブリオバトルinコンソーシアム」の開催、そしてスタンプラリーの実施です。

工大祭には、2012年のサークル結成以来参加し続けています。毎年毎年、趣向を凝らしたイベントを開催できるよう、頭をひねらせています。2014年度においては、発表者の「どこか」を固定したものや、世界大会の日本人予選も行いました。ここでは、市民の方々に室蘭工業大学までお越しいただきたく、室蘭市や登別市などにらんらんプロジェクトを用いて刷ったポスターを掲示しました。工大祭中複数回ビブリオバトルを開催しましたが、安定してご来場いただくことができました。

次は工大を離れてのイベントを行いました。「第10回ビブリオバトルinコンソーシアム」です。タイトルからもお分かりいただけるように、通算10回目の開催です。場所は中島町の中島商店会ほっとな〜るという場所でした。何度も行っている場所ですが、毎回違う試みをするなど、試行錯誤をしています。終わった後、楽しそうな来場者の顔を見ることは、開催者冥利につ

きます。

また、社会人でビブリオバトルを開催している団体「いぶりびぶりぶ♪」の方々と協力して、スタンプラリーの実施を行いました。これは初めての試みでした。まだまだ考慮の余地があり、試行錯誤を行うべきだと感じました。

今までも市民の方々と交流の場を築いてきたビブリオバトルではありますが、昨年度のイベントでのポスターなどによる告知により、更に多くの市民の方々に参加いただくことができました。地域の方々とお話する機会は工大生にはあまりないので、双方にとって、楽しい時間を共有、提供できたのではないかと思います。

しかし、まだまだ満足してはおりません。更なる発展を目指し、どのようにしたらより一層ご来場いただけるのか、楽しいのか、議論を重ねていきます。今後ともどうぞビブリオバトル室蘭をよろしく願いいたします！



らんらんプロジェクト レポート

TEDxMuroranIT 開催プロジェクト

応用理化学系学科 4年 森 公 佑

私たちは、室蘭工業大学で「TEDxMuroranIT」を開催することを目標に1年間活動してきました。TEDxイベントを通して工大生のアイデアを他の学生や室蘭市民の方々と共有し、聞いた方自身の考え・行動に繋がることを目的としています。

ここでTEDについて簡単に説明します。TEDとはアメリカで年一回プレゼンイベントを開催している団体です。「Idea worth spreading ~広める価値のあるアイデア~」をスローガンに掲げ、各分野における最新の研究から、出会いや経験から得たアイデアの紹介、パフォーマンスなど様々なプレゼンを見られます。これらのプレゼンはすべてネット上にアップロードされており、大半は日本語字幕付きで見ることができます。日本でも、NHKで放映中の「スーパープレゼンテーション」で取り上げられ、注目されています。そして、TEDのようなプレゼンイベントを各地域で開催できるシステム「TEDx」というものがあります。世界167ヶ国で一日平均8回開かれており、日本でも東京、札幌など多くの地域で開催されています。近年は大学内で学生が主催しているTEDxイベントもあります。

私たちは、1年前にTEDの動画をみて面白い！ためになった！と感じ、みんなで見たい！もっとTEDを広めたい！と思った人が集まりできた団体です。はじめは図書館の多目的室や大学会館2階で鑑賞会を開いて、メンバーでTEDを見る会でした。しだいに鑑賞会に友達を呼び、ポスターを使った宣伝を行うようになりました。そうして少しずつ大きくなっていったチームで、次は自分たちでプレゼンをやってみないか？という案があがり、私たちはTEDxイベントの開催を目標に活動していくことに決定しました。

開催に至るまでに、手間がかかることが多く、かなり時間がかかってしまいました。その間も以前のように鑑賞会を続け、広報活動を行っていきました。そして12月25日、準備を終え、無事にプレゼンイベントを開催することができました。

当日は講演会と交流会の二つのセッションに分けて進めていきました。講演会では3人の工大生にスピーカーを依頼、10分程度のプレゼンテーションをしていただきました。テーマは化学・工学。これまで化学や

工学を学んできたことから自分が考えたアイデア、思ったことを伝えていただきました。終了後は場所を移し、カンファレンスに参加した方たちと3名のスピーカーを交えての交流会を開きました。規模は当初企画していたものより小さくなってしまいましたが、参加したみなさんと充実した時間を過ごすことができましたと感じています。

最後に、今回のプロジェクトに協力して頂いたチームのメンバー、参加して頂いた学生、市民の皆様、大学の学生課の皆様、ありがとうございました。今年度も鑑賞会・講演会を中心により活発に活動していく予定です。興味のある方がいましたらぜひ会場にお越しください。今年度もよろしくお願ひします。



らんらんプロジェクト レポート

室蘭笑顔のまちプロジェクト ～室蘭の魅力を発信！～

建築社会基盤系学科 4年 竹内 香澄

室蘭笑顔のまちプロジェクトは、室蘭に住む方々の笑顔の写真をまちの中や室蘭で行われているイベントの中で撮影し、インタビューを行い、集めた笑顔の写真を室蘭の地図にマッピングして室蘭の魅力を発信し、市内の人にまちの良さ・楽しさを再発見してもらうこと、また市外の方が室蘭というまちに興味をもってもらい、訪れてもらうことを目的として活動してまいりました。

1年間の活動では、中島町や中央町の商店街でお店を経営している方や、室蘭市内のイベントに来場された方にインタビューを行いました。室蘭の良さや思い出の場所、笑顔になれる場所などについて質問形式でインタビューを行いました。インタビューした人の中には、生まれてからずっと室蘭に住んでいるという方もおり、昔のまちの様子について回想しながらお話しされ、様々なお話を聞くことができました。室蘭の魅力というと、自然の豊かさや観光名所が多いことを思い浮かべますが、インタビューでお聞きした室蘭の良さは「人があたたかい」ことや「海産物などの食べ物がおいしい」ことなど、実際に住んで分かるまちの良さというものが多く、人それぞれであるように感じました。

11月には中島コンソーシアムにて写真展を行いました。写真展は、これまでに集めた笑顔の写真とインタビュー内容を展示し、立ち寄った方に楽しく気軽に見ていただけるような展示としました。活動内容の紹介のパネルの設置や、展示のアンケートも同時に行い、プロジェクトについても知っていただけたのではないかと思います。一週間の展示でしたが、多くの市民の方に見ていただくことができました。

このプロジェクトを通して、たくさんの地域の方の笑顔を見て、お話を聞き、室蘭の良さや魅力が住む人、住む場所によって様々であるように感じました。また、笑顔で接してくれる人が多いまちであるということを実感し、インタビューしている私

たち自身が室蘭の魅力を知ることが多かったように感じます。反省点として、聞いたことや感じたことを有効に伝えていく方法や、プロジェクト自体の認知度を上げるような取り組みを行うことが難しく、実行までたどり着けない部分が多かったということがあります。今後、本プロジェクトで知った室蘭の魅力を別の形で市内外の方に伝えていきたいと思っています。本プロジェクトにご協力、ご支援いただきました方々、市民の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。



らんらんプロジェクト レポート

* ゆきあかり *

機械航空創造系学科 4年 田之室 雄

本学の学生で構成されている*ゆきあかり*実行委員会が主催するこの企画は、今回で第2回目の開催となりました。この企画は地域の人々との交流を目的としていて、高砂5丁目公園を雪とろうそく(スノーキャンドル)を使って幻想的な空間に一変させました。昼間は、ソリ滑り・的当てゲーム・スノーキャンドル作り体験など地域の子供達と楽しい時間を過ごし、日が暮れるに連れて徐々にろうそくに火を灯していきます。

ろうそくは約2000個使用し、日が完全に暮れた頃には辺り一帯がろうそくの灯りに包まれます。来てくださった地域の方々には、温かいココアを配布して、様々な方面から写真を撮ったり、散策したりと自由に時間を過ごしていただきました。

別日程で廃油キャンドル手作り体験というワークショップも同実行委員会で行いました。家庭などから出た廃油を再利用して環境に優しいろうそくを作ります。ここで作っていただいたろうそくの1つは家庭に持ち帰り、もう一つは*ゆきあかり*当日、使用させていただきました。開催場所には、水元小学校の児童館と、高砂にあるコミュニティスペース『タンネ』を使用させていただきました。

*ゆきあかり*は、Facebookページ (<https://www.facebook.com/yukiakarimuroran>) もあり、情報を知ることができます。また、新聞やテレビなどでも報道していただいております。

この企画で多くの地域の方と関わることができました。また、来場者の楽しそうな顔を見て、これからも続けていきたいとスタッフ一同心から思いました。



らんらんプロジェクト レポート

JSBC2014 2年目の挑戦

建築社会基盤系専攻修了 成田 彩華

2014年8月30日、31日に大阪で開催されたジャパンスチールブリッジコンペティション2014に参加しました。ジャパンスチールブリッジコンペティションは、全国の土木を専攻する学生を対象に、工学知識の応用力や問題解決能力を養うことを目的に毎年開催されています。大会では4mの鋼製橋梁を設計、製作、架設を行い、その設計精度や架設時間、プレゼンテーション等を競います。今大会には、17大学・2高専が参加、私たちのチームは昨年に続き2度目の参加でした。

「橋梁って言っても、所詮は模型でしょ?」と思われる方もいらっしゃると思います。確かに模型ですが、長さ4m、重さ約40kgで、150kgの重りが載ってもたった5mmしか変形しない、かなり大きくて頑丈な模型です。

土木工学コース構造力学研究室の学生で構成されたブリコンチームが本格始動したのは7月上旬。「昨年の橋を進化させて、カッコイイ橋を作ろう!!」という思いから、「より強く より速く よりスタイリッシュに」というコンセプトのもと、設計を開始しました。勝つために橋梁に求められることは、変形量が5mm以内であること、短時間で組み上げられること、軽量であることです。その3つを考慮して、形状を考え、有限要素モデルを作り、解析。結果を見て、改良して、モデルを作り直して、また解析をして…、という作業を何度も繰り返し、最終的な形状を決定しました。

作るものが決まったら、次は部材の製作です。使用する鋼材はホームセンターなどでは購入できないため、鋼材屋さんへ行き、実物を見て、購入する鋼材のサイズや本数を決めます。鋼材が揃うと、ものづくり基盤センターの設備をお借りして、部材製作を行いました。昨年に引き続き職員の方々に多大なご協力を頂きました。鋼材を切って、ボルト穴を開けて、ヤスリ掛けをして、という作業。最も妥協が許されない部分なので、少しでもボルト穴がずれたものは、作り直すこともありました。

部材が揃ったら、次は架設（組み立て）練習です。架設競技は大会で最も盛り上がる競技で、総合評価にも大きくかかわってきます。私たちもこの競技に重点を置いていました。チームみんなで汗を流し、真夏の日差しで熱くなった鉄の橋を組み上げるのは、まるで部活動のよう。声を掛け合い、架設時間をどんどん短縮させていくほど、チームの団結力は強くなっていき

ました。

大会前日、鋼材と工具を抱えて、大阪へ向かいました。競技前の練習では、他校の橋梁や架設状況を見ることができます。斬新な橋梁や完璧な架設作業を目にすると、圧倒されるのは初出場の時と同様でした。ただ昨年と違ったのは、私たちが練習し始めると、周りに人が集まってきたことです。そこに来て、ようやく昨年大会優勝チームだというプレッシャーを感じました。競技当日、架設競技では練習の成果を発揮し、自己ベストタイムを更新して堂々の1位、プレゼンテーションは2位とまずまずの結果。しかし、載荷競技ではたわみ目標値を約1mm超過し、入賞ならず。結果、総合順位は4位でした。

昨年優勝していただけに、今回の結果は非常に悔しいものでした。ただ、2大会連続で好成績を収められたのは、学内外の多くの方の支援があったからだと感じています。また、2年間共に戦った仲間たちにも感謝しています。「鉄のマチ」室蘭の代表として、今後も出場してほしいと思います。ご支援、ご協力いただいた方々、ありがとうございました。



架設競技



完成橋梁とチームメンバー

らんらんプロジェクト レポート

室工大ワークショッププロジェクト

情報電子工学系専攻 2年 中島幸佑

我々「室工大ワークショッププロジェクト」は本学の学生を対象にワークショップを開催しました。今年度のワークショップは「東京オリンピックを盛り上げよう！」をテーマとして、総勢40名程の学生にオリジナリティ溢れるアイデアを作り上げていただきました。

室工大ワークショッププロジェクトの発端は、3年前から続く公立はこだて未来大学と本学との連携ワークショップです。連携ワークショップは、学びの環境が異なる学生と交流することで様々な考え方や価値観を知り、多角的な視野を養う良い機会となりました。その結果、学生の問題解決能力やコミュニケーション能力などを向上させることができました。しかし、学びの環境や価値観の違いならば、本学の特徴でもある工学部4学科の構成を生かして連携ワークショップで得られた成果を本学だけでも得られるのではないかと考えました。そこで、連携ワークショップの企画に携わった学生が中心となり、このワークショッププロジェクトを行いました。

ワークショップは11月8日と9日の2日間かけて実施し、「東京オリンピックを盛り上げよう！」という議題を基に、新しいサービスやプロダクトのプレゼンテーションを行いました。実施の流れは、1日目に話し合いによるアイデア考案、2日目にアイデアに沿った発表準備とそれを用いてプレゼンテーションを行うというスケジュールでした。今回のワークショップは学科間の隔たりをなくし、多種多様な価値観を共有してもらうことが目的でしたので、多くの学科の学生が混在するチーム構成にしました。しかし、初めて会う人との議論というものは、普段からそのようなことを行っていない限り円滑に進められることができません。そこで、各チームに学部4年生以上の上級生を一人配置して、議論が滞ってしまった場合や議論の内容が不明瞭になってしまった場合に議論の方向修正を行う役目（ファシリテーター）を担っていただきました。そして、ディスカッションでは、ポストイットや模造紙などのアイデア考案ツールを積極的に活用しました。

これらの実施内容により、今年度のワークショップは多くの成果を得られました。まず、参加していただいた学生のイノベーション思考を伸ばすきっかけになりました。本学の授業カリキュラムでは専攻学科ごと

の専門的なスキルを身につけることはできますが、新しいモノを発案するためのスキルを上達する機会がありません。そのため、この活動を通じて、イノベーション思考を意識するきっかけになったという意見を参加学生から多くいただきました。次に、各チームにファシリテーターとして配属された学生の議論のスキルが上達するきっかけとなりました。学生生活のうちに議論や会議を行うという機会は意外と少なく、さらに、議論を円滑に進めることを意識して会議に参加した経験はあまりないと思います。そのような状況の中で、各チームの議論の方向修正を行っていただいた学生は、今までとは違った視点で議論を見つめ、活動をしていったと思います。この経験をしたことにより、新たなファシリテーションスキルを身につけるきっかけになりました。

この活動を通じて、ワークショップに携わったすべての学生が成長のきっかけや新しい学びを得たと思います。特に、話したことのない学生と真剣に討論したので学科特有の価値観や個人の価値観を共有することができたと思います。これらを通じて、今後学科間の壁を取り払い大きな活動に繋がっていくことを期待しています。



ディスカッションの様子



アイデア考案ツール

新入生アンケートの結果から(平成26年実施)

企画・評価室

本学では、平成17年度から毎年、1年生を対象にアンケートを実施しています。

(2～4年生に対しても3年に1度の頻度でアンケートを実施しています。)

目的は違いますが、他にも多くのアンケート調査等があり、学生の皆さんにはお手を煩わせ大変申し訳なく思っています。この場を借りて改めてお礼を申し上げます。

皆さんからいただいた回答は、集計しその結果を公表するとともに、関係部署への周知をはかり大学運営への活用に使っています。

今年度の新入生アンケートの実施結果については、既にホームページで公表していますが、ご覧いただいている方はそう多くはないと思われます。

そこで、今回は、当該アンケート結果のうち、特に目を引く項目についてご紹介したいと思います。

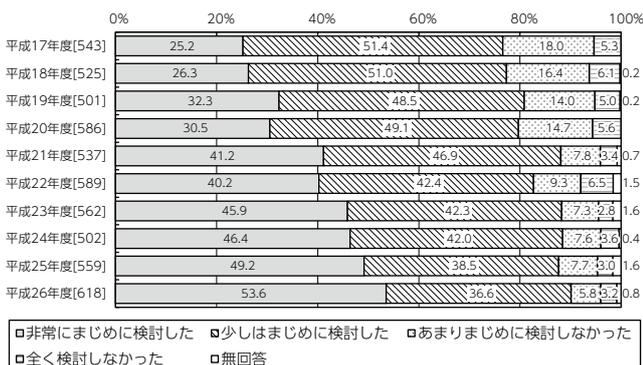
①

問16. あなたは、今年度の履修登録にあたり、将来や進路なども考えたうえで、真剣に検討しましたか。

1. 非常にまじめに検討した
2. 少しはまじめに検討した
3. あまりまじめに検討しなかった
4. 全く検討しなかった

(集計結果とこれまでとの比較)

問16. あなたは、今年度の履修登録にあたり、将来や進路なども考えたうえで、真剣に検討しましたか



今年の履修届にあたり、将来や進路なども考えたうえで、「非常にまじめに検討した」学生割合は53.6%でした。この割合は毎年増加傾向にあり、アンケート開始の平成17年度と比較すると、倍増しています。

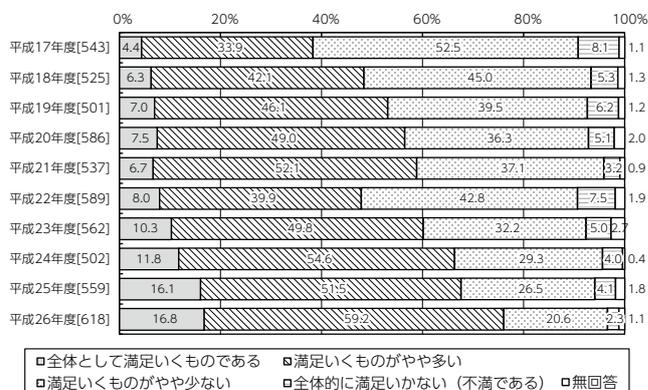
②

問17 あなたは、あなたが受講している授業の内容や進め方について満足していますか。

1. 全体として満足いくものである
2. 満足いくものがやや多い
3. 満足いくものがやや少ない
4. 全体的に満足いかない(不満である)

(集計結果とこれまでとの比較)

問17.あなたは、あなたが受講している授業の内容や進め方について満足していますか <0204>



授業の内容や進め方に対して「全体として満足いくものである」との割合はアンケート開始当初の4倍近くに達しています。

また、これに「満足いくものがやや多い」を加えた割合は76.0%となっており、これもこれまでで最も高い割合となっています。

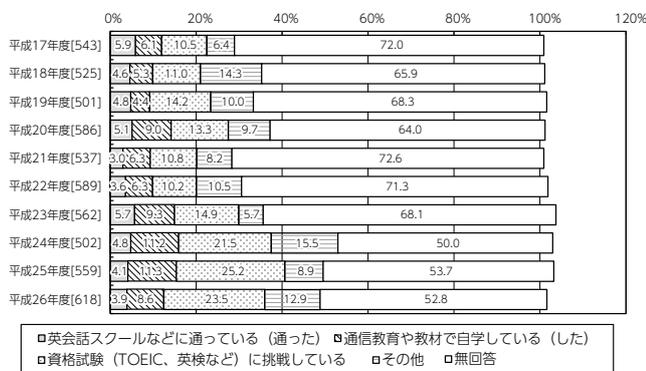
③

問19. あなた自身は、授業以外で英語や他の外国語に関して何か取り組んでいますか（複数選択可）。

1. 英会話スクールなどに通っている（通った）
2. 通信教育や教材で自学している（した）
3. 資格試験（TOEIC、英検など）に挑戦している
4. その他（ ）

（集計結果とこれまでとの比較）

問19.あなた自身は、授業以外で英語や他の外国語に関して何か取り組んでいますか
（複数回答） <1105>



授業以外での英語や他の外国語に関する取り組みとして、「資格試験（TOEIC、英検など）に挑戦している」割合が、ここ数年5割ほどと非常に高くなっています。

平成26年度では150人近くの人が資格試験に挑戦しています。

※このアンケート結果の全項目については、下記で見ることができます。

http://www.muroran-it.ac.jp/guidance/about/evaluation/index_eval.html

蘭岳賞等受賞者紹介

本学では、毎年3月の学位記授与式当日に、学業成績優秀者等に室蘭工業大学蘭岳賞並びに大坪賞の学生表彰を行っています。

また、当日は、室蘭工業大学優秀学生奨励金制度優秀学生（博士前期課程）の表彰、学部卒業生及び大学院修了生等の中で特に学業優秀な者として推薦され、関係学会賞等を受賞した学生についても紹介しています。

平成26年度の受賞者は次のとおりです。

室蘭工業大学蘭岳賞

【学業部門】

建築社会基盤系学科	本間愛理
機械航空創造系学科	佐藤心海
応用理化学系学科	河村一磨
情報電子工学系学科	市野雄大

【特別部門】

「エコラン」プロジェクト	
代表 応用理化学系学科	伊藤成哉
YOSAKOIソーランサークル	
「百花繚蘭」	
代表 建築社会基盤系学科	細川丈夫
鉄道研究会	
代表 情報電子工学系学科	高橋天凱
夢工房	
代表 情報電子工学系学科	後藤貴史

室蘭工業大学大坪賞

建築社会基盤系学科	生富直孝
建築社会基盤系学科	上出洋介
建築社会基盤系学科	谷口陽子

室蘭工業大学優秀学生奨励金制度 優秀学生

【博士前期課程】

建築社会基盤系専攻	本間有也
建築社会基盤系専攻	成田彩華
応用理化学系専攻	大磯孝弘
応用理化学系専攻	杉浦康裕
情報電子工学系専攻	川口悟馬
情報電子工学系専攻	長舟和馬

日本建築学会北海道支部卒業優秀学生

建築社会基盤系学科	加賀紀衣子
建築社会基盤系学科	谷田憲彦

空気調和・衛生工学会振興賞学生賞

建築社会基盤系学科	佐々木勇輝
機械航空創造系学科	高橋成季

日本機械学会三浦賞

機械創造工学系専攻	稲垣雄太
-----------	------

日本機械学会畠山賞

機械航空創造系学科	永森祐太郎
機械航空創造系学科	川畑友香

日本金属学会・日本鉄鋼協会奨学賞

機械航空創造系学科	生方幸政
-----------	------

自動車技術会大学院研究奨励賞

機械創造工学系専攻	大竹亘
-----------	-----

精密工学会北海道支部学生奨励賞

機械航空創造系学科	本間裕章
-----------	------

日本航空宇宙学会学生賞

機械航空創造系学科	小川大輔
-----------	------

日本設計工学会武藤栄次賞優秀学生賞

機械航空創造系学科	長尾拓矢
-----------	------

電子情報通信学会北海道支部学生員奨励賞

情報電子工学系専攻	對馬康雄
情報電子工学系専攻	吉田京平
情報電子工学系学科	井口亜希人

電気学会北海道支部賞

情報電子工学系学科	杉山豪
-----------	-----

学会賞等受賞者

受賞者氏名 吉田 愛里
(よしだ えり)

受賞者所属学科等 博士前期課程
応用理化学系専攻修了

表彰機関名 第5回国際学会「EPAM 2014」実行委員会

賞の名称 Outstanding Paper Award (優秀論文賞)

受賞年月日 平成26年11月10日

表彰の題目・概略 題目 「Selection and characterization of an alkylphenol-degrading fungus isolated from Antarctic soil」

概略 本賞は第5回国際学会「EPAM 2014」において優秀な論文と評価され、表彰されたものである。



指導教員 暮らし環境系領域 教授 チャン・ヨンチョル

受賞者氏名 小山 大貴
(こやま だいき)

受賞者所属学科等 博士前期課程
応用理化学系専攻修了

表彰機関名 第5回国際学会「EPAM 2014」実行委員会

賞の名称 Outstanding Paper Award (優秀論文賞)

受賞年月日 平成26年11月10日

表彰の題目・概略 題目 「Selection and characterization of an alkylphenol-degrading fungus isolated from Antarctic soil」

概略 本賞は第5回国際学会「EPAM 2014」において優秀な論文と評価され、表彰されたものである。



指導教員 暮らし環境系領域 教授 チャン・ヨンチョル

学会賞等受賞者

受賞者氏名 佐藤 優 騎
(さとう ゆうき)

受賞者所属学科等 博士前期課程
応用理化学系専攻修了

表彰機関名 第5回国際学会「EPAM 2014」実行委員会

賞の名称 Outstanding Paper Award (優秀論文賞)

受賞年月日 平成26年11月10日

表彰の題目・概略 題目 「Selection and characterization of an alkylphenol-degrading fungus isolated from Antarctic soil」

概略 本賞は第5回国際学会「EPAM 2014」において優秀な論文と評価され、表彰されたものである。



指導教員 暮らし環境系領域 教授 チャン・ヨンチョル

受賞者氏名 横山 直 也
(よこやま なおや)

受賞者所属学科等 博士前期課程
情報電子工学系専攻修了

表彰機関名 日本感性工学会 生命ソフトウェア部会

賞の名称 優秀発表賞

受賞年月日 平成26年12月7日

表彰の題目・概略 題目 「クエリに基づくバイクラスタリングを用いた協調フィルタリング法」

概略 本賞は、日本感性工学会 生命ソフトウェアシンポジウム2014において、優れた発表と評価され、表彰されたものである。



指導教員 しくみ情報系領域 准教授 岡田 吉史

学会賞等受賞者

受賞者氏名 小比類巻 倭
(こひるいまき やまと)

受賞者所属学科等 博士前期課程
生産システム工学系専攻2年

表彰機関名 一般社団法人日本機械学会 機素潤滑設計部門

賞の名称 卒業研究コンテスト優秀発表

受賞年月日 平成26年9月8日

表彰の題目・概略 日本機械学会2014年度年次大会において、「噴流キャビテーションによる非衝突面の壊食（円筒状試験片による実験）」と題する研究発表を行い、優秀発表を受賞した。



指導教員 もの創造系領域 教授 風間 俊治
もの創造系領域 准教授 成田 幸仁

受賞者氏名 奥寺 将至
(おくでら まさよし)

受賞者所属学科等 博士前期課程
情報電子工学系専攻2年

表彰機関名 情報処理学会北海道支部

賞の名称 技術研究賞

受賞年月日 平成26年10月4日

表彰の題目・概略 題目 「看護師勤務表作成問題への進化型多目的最適化の応用」
概略 この発表は平成26年度情報処理北海道シンポジウム2014において、優れた発表と評価され、表彰されたものである。



指導教員 しくみ情報系領域 准教授 渡邊 真也

学会賞等受賞者

受賞者氏名 吉田 ちあき
(よしだ ちあき)

受賞者所属学科等 博士前期課程
環境創生工学系専攻2年

表彰機関名 公益社団法人 土木学会北海道支部

賞の名称 平成25年度土木学会北海道支部 優秀学生講演賞

受賞年月日 平成26年4月24日

表彰の題目・概略 題目 「インドネシアKahayan川を対象とした流出予測に関する研究」
概略 この発表は平成25年度土木学会北海道支部技術研究発表会において、優れた発表と評価され、表彰されたものである。



指導教員 暮らし環境系領域 教授 中津川 誠

受賞者氏名 平田 健朗
(ひらた たけろう)

受賞者所属学科等 博士前期課程
建築社会基盤系専攻修了

表彰機関名 社団法人 土木学会

賞の名称 土木学会全国大会 年次学術講演会 優秀講演賞

受賞年月日 平成26年12月30日

表彰の題目・概略 題目 「ソイルセメントを用いた三層緩衝構造の耐衝撃挙動に関する弾塑性応答解析」
概略 この発表は平成26年度土木学会全国大会第69回年次学術講演会において、優れた発表と評価され、表彰されたものである。



指導教員 暮らし環境系領域 准教授 小室 雅人

学会賞等受賞者

受賞者氏名 李 興
(り しん)

受賞者所属学科等 博士後期課程 工学専攻2年

表彰機関名 日本味と匂学会

賞の名称 論文賞

受賞年月日 平成26年10月3日

表彰の題目・概略 第47回日本味と匂学会において発表した研究論文「イモリ嗅上皮に発現する「匂い分子結合タンパク質」のシステイン残基の働き」が、優れた研究論文であるとし、今後のこの分野における研究の発展を期待して、日本味と匂学会から平成26年度論文賞を授与された。本論文賞は研究論文141編から選考の結果4編が授与されている。



指導教員 もの創造系領域 教授 岩佐 達郎

受賞者氏名 池田 汐里
(いけだ しおり)

受賞者所属学科等 博士前期課程
環境創生工学系専攻2年

表彰機関名 公益社団法人 日本造園学会 北海道支部

賞の名称 優秀賞（口頭発表部門）

受賞年月日 平成26年10月4日

表彰の題目・概略 題目 「地域課題の解決に資する基盤形成に向けた市民参加型の公園づくりに関する研究」

概略：本賞は、平成26年度日本造園学会北海道支部大会研究・事例口頭発表において、優れた研究内容及びプレゼンテーションを行った学生発表者に対して授与されるものである。



指導教員 くらし環境系領域 准教授 市村 恒士

学会賞等受賞者

受賞者氏名 湯上 真亜子
(ゆがみ まあこ)

受賞者所属学科等 建築社会基盤系学科 4年

表彰機関名 日本造園学会北海道支部

賞の名称 優秀賞 (ポスター発表部門)

受賞年月日 平成26年10月4日

表彰の題目・概略 題目 「集合住宅におけるランドスケープビジネスの共通価値創造の可能性」

概略 本賞は、平成26年度日本造園学会北海道支部大会ポスター発表において、優秀なポスタープレゼンテーションを行った学生発表者に対して授与されるものである。



指導教員 くらし環境系領域 准教授 市村 恒士

受賞者氏名 渡 邊 望 未
(わたなべ のぞみ)

受賞者所属学科等 博士前期課程
環境創生工学系専攻 1年

表彰機関名 日本造園学会北海道支部

賞の名称 優秀賞 (ポスター発表部門)

受賞年月日 平成26年10月4日

表彰の題目・概略 題目 「商店街の活性化に資する街路樹のマネジメントに関する研究」

概略 本賞は、平成26年度日本造園学会北海道支部大会ポスター発表において、優秀なポスタープレゼンテーションを行った学生発表者に対して授与されるものである。



指導教員 くらし環境系領域 准教授 市村 恒士

学会賞等受賞者

受賞者氏名 割田 怜
(わりた さとし)

受賞者所属学科等 博士前期課程
情報電子工学系専攻2年

表彰機関名 電気・情報関係学会
北海道支部連合大会実行委員会

賞の名称 平成26年度電気・情報関係学会
北海道支部連合大会 優秀論文発表賞

受賞年月日 平成26年12月15日

表彰の題目・概略 題目 「幾何曲線認識を用いた図形空間操作インタフェースの提案」
概略 平成26年度電気・情報関係学会北海道支部連合大会における上記講演が、研究内容に加え、若手研究者としてのヴァイタリティーを感じさせる優秀な講演として認められ、表彰された。



指導教員 しくみ情報系領域 教授 佐賀 聡人

受賞者氏名 勝倉 耀平
(かつくら ようへい)

受賞者所属学科等 博士前期課程
応用理化学系専攻修了

表彰機関名 プラスチックリサイクル化学研究会

賞の名称 若手研究者賞 (ポスター)

受賞年月日 平成26年9月11日

表彰の題目・概略 題目 「炭化水素系プラスチックの化学原料化ケミカルリサイクルーポリオレフィンによるポリスチレンの反応制御」
概略 本賞は、プラスチックリサイクル化学研究会 (FSRJ) 第17回研究討論会において、特に優秀な発表を行った35才以下の若手研究者に授与されたものである。



指導教員 暮らし環境系領域 教授 上道 芳夫

学会賞等受賞者

受賞者氏名 勝 倉 耀 平
(かつくら ようへい)

受賞者所属学科等 博士前期課程
応用理化学系専攻修了

表彰機関名 日本化学会

賞の名称 優秀ポスター発表賞

(CSJ Poster Presentation Award 2014 for Excellent Research)

受賞年月日 平成26年11月10日

表彰の題目・概略 題目「ポリオレフィン水素を利用した廃プラスチックの新しいケミカルリサイクルシステムの構築」

概略 本賞は、日本化学会第4回CSJ化学フェスタ2014において、優秀なポスター発表を行ったことが認められて表彰されたものである。



指導教員 暮らし環境系領域 教授 上道 芳夫

受賞者氏名 篠 原 猛 真
(しのはら たくま)

受賞者所属学科等 博士前期課程
環境創生工学系専攻2年

表彰機関名 日本化学会北海道支部

賞の名称 優秀講演賞

受賞年月日 平成26年9月24日

表彰の題目・概略 題目「炭化水素系プラスチックの接触分解における共存水素の影響」

概略 本賞は、日本化学会北海道支部2014年夏季研究発表会において、優れた発表を行ったことが認められて表彰されたものである。



指導教員 暮らし環境系領域 教授 上道 芳夫

学会賞等受賞者

受賞者氏名 福 津 向 基
(ふくつ こうき)

受賞者所属学科等 博士前期課程
環境創生工学系専攻2年

表彰機関名 公益社団法人 地盤工学会

賞の名称 地盤工学研究発表会 優秀論文発表者賞

受賞年月日 平成26年11月28日

表彰の題目・概略 題目 「火山灰質土で構築された実物大盛土の崩壊機構の解析的検討」
概略 この発表は地盤工学会 第49回地盤工学研究発表会において、優れた発表と評価され、表彰されたものである。



指導教員 暮らし環境系領域 准教授 川村 志麻

受賞者氏名 北 原 進之介
(きたはら しんのすけ)

受賞者所属学科等 博士前期課程
建築社会基盤系専攻修了

表彰機関名 日本建築学会

賞の名称 基礎構造部門 若手優秀発表

受賞年月日 平成26年12月17日

表彰の題目・概略 題目 鉛直荷重を受けるパイルド・ラフトの挙動に関する実用計算法
概略 2014年度日本建築学会大会学術講演会基礎構造部門の若手発表者の中で、特に優れたものとして評価され表彰された。



指導教員 暮らし環境系領域 教授 土屋 勉

学会賞等受賞者

受賞者氏名 岡 聖也
(おか せいや)

受賞者所属学科等 博士前期課程
建築社会基盤系専攻修了

表彰機関名 地盤工学会

賞の名称 地盤工学研究発表会優秀論文発表者賞

受賞年月日 平成26年10月15日

表彰の題目・概略 題目 回転貫入杭の引抜き抵抗力に関する模型実験－Ⅲ

概略 本賞は、第49回地盤工学研究発表会（北九州市）で、地盤工学の発展に貢献しうる優秀な論文を発表した35才以下の者に与えられた。



指導教員 暮らし環境系領域 教授 土屋 勉

受賞者氏名 岡 聖也
(おか せいや)

受賞者所属学科等 博士前期課程
建築社会基盤系専攻修了

表彰機関名 日本建築学会北海道支部

賞の名称 優秀講演奨励賞

受賞年月日 平成26年6月28日

表彰の題目・概略 題目 回転貫入杭の引抜き抵抗力に関する実験的研究（その3）

概略 本賞は、第87回日本建築学会北海道支部研究発表会において、若手研究者として優れた発表を行ったことが認められて表彰されたものです。



指導教員 暮らし環境系領域 教授 土屋 勉

学会賞等受賞者

受賞者氏名 花 木 健 哉
(はなき けんや)



受賞者所属学科等 博士前期課程
建築社会基盤系専攻修了

表彰機関名 一般社団法人 日本建築学会北海道支部

賞の名称 日本建築学会北海道支部研究発表会
優秀講演奨励賞

受賞年月日 平成26年 6月28日

表彰の題目・概略 題目 「鉄筋コンクリート部材の複数鉄筋のだほ耐力」
概略 本表彰は北海道内に所在する大学・短期大学・高等専門学校・工業高校の建築関連の学科に所属する学生・生徒、もしくは卒業・修了後1年以内で原則30歳以下の者で、支部研究発表会において優秀な研究発表を行った者に授与されるものである。

指導教員 くらし環境系領域 教授 溝口 光男

受賞者氏名 市 川 涼 児
(いちかわ りょうじ)



受賞者所属学科等 博士後期課程 工学専攻2年

表彰機関名 高分子学会第49回北海道支部研究発表会

賞の名称 優秀講演賞

受賞年月日 平成27年 1月26日

表彰の題目・概略 題目 アゾベンゼン系フォトクロミックアモルファス分子材料-p-トル
エンスルホン酸複合膜の可逆的色彩変化
概略 本賞は、高分子学会第48回北海道支部研究発表会において、優れた口頭発表を行った学生発表者に対して授与されるものである。

指導教員 くらし環境系領域 教授 中野 英之

学会賞等受賞者

受賞者氏名 出 南 真 吾
(でみなみ しんご)

受賞者所属学科等 博士前期課程
情報電子工学系専攻2年

表彰機関名 第50回応用物理学会北海道支部

賞の名称 発表奨励賞

受賞年月日 平成27年3月6日

表彰の題目・概略 題目 新充填スクッテルダイト化合物 $\text{BaOs}_4\text{P}_{12}$ の高圧合成と超伝導
概略 本賞は、第50回応用物理学会北海道支部学術講演において、優れた口頭発表を行った学生発表者に対して授与されるものである。



指導教員 しくみ情報系領域 教授 関根ちひろ

受賞者氏名 張 沢 君
(ちゃん ぜじゅん)

受賞者所属学科等 博士後期課程 工学専攻2年

表彰機関名 IEEE Sapporo Section

賞の名称 The 2014 IEEE Sapporo Section Encouragement
Award

受賞年月日 平成27年2月3日

表彰の題目・概略 題目 Design of polarization splitter with single-polarized elliptical-hole core circular-hole holey fibers
概略 本賞は、IEEE（米国電気電子学会）が発行する論文誌に採録された北海道内の学生の論文のうち優れた論文を表彰するもので、上記論文が優秀な論文と認められ表彰された。



指導教員 しくみ情報系領域 教授 辻 寧英

学会賞等受賞者

受賞者氏名 野澤 広大
(のざわ こうだい)

受賞者所属学科等 博士前期課程
情報電子工学系専攻2年

表彰機関名 IEEE Sapporo Section

賞の名称 The 2014 IEEE Sapporo Section Student Paper
Contest Encouraging Prize

受賞年月日 平成27年2月3日

表彰の題目・概略 題目 完全PBGを有する複合格子フォトニック結晶に関する検討
概略 平成26年度電気・情報関係学会北海道支部連合大会における上記講演が、優秀な発表を行った学生を表彰するIEEE Sapporo Sectionの企画 Student Paper Contest の賞に値するものとして表彰された。



指導教員 しくみ情報系領域 教授 辻 寧英

受賞者氏名 川西 滉太
(かわにし こうた)

受賞者所属学科等 博士前期課程
環境創生工学系専攻2年

表彰機関名 化学系学協会北海道支部

賞の名称 優秀講演賞(口頭部門)

受賞年月日 平成27年1月27日

表彰の題目・概略 題目 「貴金属リン化合物触媒の水素化および水素化脱硫活性」
概要 本賞は化学系学協会北海道支部2015冬季研究発表会において優れた口頭発表を行った学生に与えられる賞である。



指導教員 暮らし環境系領域 助教 神田 康晴

図書館からのお知らせ

新たに開始したサービスや最近実施した事業などを中心に紹介します。
気になるものがありましたら、ぜひ図書館にお寄りください。

蔵書検索が新しくなりました!?

3月に図書館の蔵書検索（学内にある図書・雑誌・視聴覚資料等の検索）が新しくなりました。

以下の便利な機能が追加されています。

- ・キーワードのサジェスト機能
（文字を入力すると、候補を自動表示）
- ・ファセットブラウジング
（絞り込み候補が表示され、ワンクリックで絞り込み）
- ・関連度によるソート
（より関連度の高いものが上位に表示）
- ・検索したキーワードがハイライトで表示
- ・外部サイトとの連携検索がより便利に



がんばれば、がんばっただけスコアがアップ!! 1階 TOEIC英語資格コーナー

国際コミュニケーション英語能力TOEICは、自分のがんばり次第でスコアアップが可能です。学年は関係ありません。1階TOEIC英語資格コーナーには、国際的に通用する英語力（聞く・読む・話す・書く）を自習いただけるよう、TOEIC関連図書をたくさん用意していますのでご利用ください。図書付属の音声CDをご希望される方は、カウンターにお申し出ください。

また、当コーナーには海外留学を目指す方のためのTOEFL・IELTS関連図書もございます。

継続は力なり!!



開館日・開館時間の延長等を継続します!

昨年4月から試行していた開館日・開館時間の延長等が正式に継続されることになりました。

開館カレンダーは、図書館サイトの他に、図書館入口に掲示しております。また、持ち運びに便利な名刺サイズの「利用案内」でも確認できます。

期間/曜日	平日	土日祝
授業期	9:00-21:00	11:00-19:00
定期試験 対応期間	9:00-22:00	9:00-22:00
休業期	9:00-17:00	11:00-17:00 (祝日と一部日曜は休館)

パソコンで困ったら、GPS(技術部PCサポート)!

課題・レポートの回答・補助以外で、パソコンで困ったことがありましたら、図書館でGPS(技術部パソコンサポート)に相談できます。

図書館カウンターでの相談は、平日の13:30~16:30となります。



Information

パンフレット「図書館のちょっと便利な使い方」配布中！

図書館のちょっと便利な使い方を、テーマごとに1枚もののパンフレットで紹介しています。

パンフレットは図書館入口に置いています。気になるものがありましたら、どうぞお取りください。

図書館サイトからもダウンロードできます。

- vol.01 図書の予約ってどうすればできるの？
- vol.02 図書館の中では自分のノートパソコンやスマートフォンでネットに接続できるの？
- vol.03 こんなものを貸出しています☆
- vol.04 読みたい本や雑誌が図書館になかったらどうすればいいの？ (ver.1 コピーを取り寄せる)
- vol.05 読みたい本が図書館になかったらどうすればいいの？ (ver.2 本を取り寄せる)
- vol.06 快適な滞在のためのプチサービス
- vol.07 Webで自分が借りている本の確認や貸出延長ってできるの？
- vol.08 読みたい本が図書館になかったらどうすればいいの？ (ver.3 本の購入をリクエストする)
- vol.09 学術論文の探し方 (初級編)
- vol.10 科学データの調べ方
- vol.11 用語の調べ方
- vol.12 新聞記事の探し方
- vol.13 図書貸出返却装置でちゃんと返却できたかな？



ご存知ですか？ 図書館の飲食ルール！

みなさんが図書館で長時間学習できるように、以下の飲食ルールを定めております。

気持ちよく学習するためにも、是非ご協力ください。また、ゴミの分別にもご協力ください。

エリア	飲食ルール
閲覧室 (1階&2階)	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み物は、ペットボトルなど<u>しっかり蓋のできるもの</u>。 ・食べ物は、一口サイズで、<u>かつ小包装されたもの</u> (あめ、キャラメル、チョコなど) に限定。 ・口に入れた菓子類以外は、机の上に置かず、<u>カバンにしまっておくこと</u>。 ・歩きながらの飲食は禁止。
休憩室のみ (2階)	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み物は、缶ジュースなどもOK。 ・食べ物は、おにぎり、パン、サンドウィッチの<u>軽食もOK</u>。 ・汁物、弁当類、アイスなどの生ものは禁止。

最新情報はウェブサイト、Facebook、Twitterで！

図書館の最新情報は、ウェブサイト、Facebook、Twitterでお知らせしています。

是非「お気に入り」「いいね」「フォロー」に加えてください。

発信方法	内容
ウェブサイト	開館日・時間、開館カレンダー、利用案内、館内マップ、重要なお知らせ、図書・雑誌等の検索、電子ジャーナル・データベースの利用
Facebook Twitter	お知らせ、企画展示、講習会、新着図書等



風邪ひいた…お腹が痛い…熱がある…捻挫した…虫に刺された…眠れない…やる気がわからない…大学を辞めたい…
心や体のことで困ったら・・・

Health Administration Center

ホケカン (保健管理センター)



センターのスタッフは、
医師、カウンセラー、
保健師、事務員です。



気軽に利用してください。



① 健康診断

在学生全員が対象です。平成27年度は4月20日(月)～24日(金)に大学会館で実施します。再検査の連絡には必ず応じてください。

② 初期診療

ケガの応急処置や、症状に応じた薬の処方などの簡単な治療が受けられます。専門病院への紹介も行います。医師が担当しています。

③ 健康相談・カウンセリング

からだに異常を感じたり、こころの不調を感じたとき、学生生活での悩みなど気軽に相談してください。
*カウンセリングを希望する場合は医師の診察が必要です。

④ 証明書の発行

- 健康診断証明書は、健康診断の結果に基づいて発行します。未受診の方はご相談ください。
- 欠席証明書に関しては、診察の際、医師に相談してください。

⑤ 禁煙相談

医師から指導が受けられます。必要に応じて、ニコチンパッチを渡しています。

⑥ 自己管理の支援

身長・体重・体脂肪計、血圧計、視力計、握力計などが自由に使えます。

利用時間

平日のみ。(土・日・祝日は休館)

午前 9:00～12:00

午後 13:00～17:00

(12:00～13:00はお昼休みのため閉館しています。
緊急時はお声かけください。)

カウンセリングは診察後、予約制
水・木曜日 (10:30～15:30)

連絡先 Tel : (0143)46-5855

E-mail : hac@mmm.muroran-it.ac.jp

- *相談内容等の秘密は守られます。
- *利用料はかかりません。

ココ!



男女共同参画推進室からお知らせ

2014年春から、女性研究者支援ユニット（UFR）が教育・研究1号館A331室に設置されました。学年や職種・性別を問わず皆様の室工大での生活が充実したものになるよう、各種相談を受け付けてお手伝いをいたします。体調不良の時に楽な姿勢で作業していただけるようソファなども用意しました。パソコンやプロジェクトタも利用できます。昨年度は、妊娠中の大学院生の方にプレゼンテーションの練習や博士論文執筆作業などでもご利用いただきました。また、UFRには妊娠や子育て関係の本だけではなく、大学での学びや研究活動の参考となる図書をそろえて閲覧・貸し出しに応じています。学生・院生の皆様、ぜひお気軽にご利用ください。



● UFRで閲覧・貸出可能な本の一部を紹介します

The Bedford Handbook Ninth Edition (Diana Hackerほか)
Bedford/ St. Martin's
アカデミック・スキルズ ～大学生のための知的技法入門～ 第2版 (佐藤 望ほか) 慶応義塾大学出版会
継続は力なり ～女性土木技術者のためのキャリアガイド～ 土木学会
デートDVと恋愛 (伊田 広行) 大月書店
アスペルガー症候群 就労支援編 (佐々木 正美ほか) 講談社
アスペルガーの男性が女性について知っておきたいこと (マクシオン・アストン) 東京書籍
アスペルガーの女性がパートナーに知ってほしい22の心得 (ルディ・シモン) スペクトラム出版社
可愛いベイベー (五十嵐 貴久) 実業之日本社
The Baby Book (William Searsほか) Thorsons
続 子どもへのまなざし (佐々木 正美) 福音館書店
家事ハラスメント ～生きづらさの根にあるもの～ (竹信 三恵子) 岩波書店
新しいパパの教科書 (NPO法人 ファザーリング・ジャパン) 学研教育出版
ペコロスの母に会いに行く (岡野 雄一) 西日本新聞社
GQ No. 136 「変わりゆくアメリカの女性リーダー像」「世界に通用するプレゼン力10のルール」コンデナスト・ジャパン
an・an No. 1932 「21世紀をハッピーに生き抜くために知っておきたい"新フェミニズム論"」マガジンハウス
The Japan Times for WOMEN vol.5 ジャパンタイムズ

ニューズレター「ダイバーシティ通信」や本学大学院修士生（女性）からのメッセージをまとめた「室蘭工業大学ロールモデル集」、ウェブページもぜひご覧ください。

● 開催しました

キャリア形成のためのランチセミナー第2回

2014年10月30日に開催しました。「仕事に活かされている大学院時代の経験」と題して、日建設計プロジェクト開発部門ファシリティソリューション部佐藤京子氏に講演していただきました。会場はA250室で、学生参加者34名（うち10名が男子学生）、教職員12名の合計46名の参加があり、講演後も熱心な質問が続き、その後も何人もの学生がUFR（A331室）に資料を見に訪れました。セミナーの様子は翌日の室蘭民報で紹介されました。



● 開催しました

教職員向けトップセミナー2014：グローバル経営とダイバーシティ推進

11月21日（金）本部棟大会議室で開催しました。日本IBM取締役副社長執行役員の下野雅承氏を講師として迎え、54名の参加がありました。佐藤学長の開会あいさつの後、下野氏からIBMにおけるダイバーシティ推進の取り組み、組織にとってダイバーシティを推進することの意義などについて講演していただきました。セミナーの様子は翌日11月22日の室蘭民報夕刊3面で紹介されました。



平成27年度は学生向けのキャリア形成セミナー（ランチセミナー）を3回、そのほか公開シンポジウム、英語セミナーなどを予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。

男女共同参画推進室 女性研究者支援ユニット（UFR）
教育・研究1号館A331室（内線5194）
E-mail：ge_ufr@www.muroran-it.ac.jp
URL：http://www.muroran-it.ac.jp/ge_ufr/

学生生活を送るにあたって

掲示について

大学から学生への連絡事項は、「掲示板」でお知らせしております。修学及び課外活動等の大切な事項ですので、日に一度は必ず見るようにしてください。掲示した事項は伝達されたものとして取り扱います。

なお、教育・研究3号館（N棟）1階ピロティ及び2階・3階学生控室、教育・研究1号館（A棟）地階、大学会館、各棟毎の掲示板だけに掲示してある事項もありますので、毎日見る習慣をつけてください。

交通事故の防止について

大学に入学してから、多くの学生が運転免許を取得し自動車に乗りはじめています。本学では、機会あるごとに交通事故防止の注意喚起をしているところですが、学生が起こす交通違反・事故は決して少なくはありません。

また、運転マナーが悪いとトラブルや事件に巻き込まれることにもなりかねません。

本学学生が交通事故の加害者となった場合には、事故の内容により、懲戒処分の対象となり、特に死亡事故等の場合には、退学も含む厳しい処分が科せられることとなります。事故を起こしてしまうと被害者はもとより、加害者、家族にとっても一生不幸な状況が生じてしまうことが多々あります。

自動車、バイク等を運転する学生は、今一度交通ルールを厳守し、安全運転を心掛け、今後の人生に悔いを残さぬよう十分注意してください。

本学では、夏休み、冬休み前に「交通安全講習会」を開催しておりますので、特に免許証を所有している学生は必ず受講して下さい。

学生教育研究災害傷害保険の加入について

この保険は、学生が大学の教育研究活動中（大学行事・課外活動中を含む。）及び通学中において、災害・事故に見舞われた際に補償を受けるものです。任意加入となっておりますが、本学では、万一の災害事故に備えて全学生が加入することを勧めています。

学部生、大学院生でまだ加入していない学生、加入保険期間が過ぎて未加入となっている学生は、ぜひ加入されるようお知らせします。

その他にも、損害賠償保険等についても加入できますので、学生室へ問い合わせ下さい。

国民年金の学生納付特例制度について

国民年金は、20歳から60歳までの全ての人が加入し、保険料を納付することが義務づけられています。

学生納付特例制度は、申請をして承認を受けると、在学期間中の保険料を後払いできる制度です。なお、申請は毎年必要です。詳しくは、市区町村の国民年金担当窓口へ問い合わせ下さい。

また、この制度について、下記のホームページにも掲載していますのでご覧ください。

日本年金機構

<http://www.nenkin.go.jp>

定期健康診断について

平成27年度の定期健康診断を次の日程で実施する予定です。この健康診断は、進学時や就職時ばかりではなく、日常の健康管理にも必要なものですので必ず受診してください。

（詳細は、ピロティ又は各学科掲示板を見ること）

実施期間 4月20日（月）～4月24日（金）

実施場所 大学会館

AED（自動体外式除細動器）について

自動体外式除細動器は、心臓の突然停止（心室細動）の際に電気ショックを与え（電氣的除細動）、心臓の動きを戻すよう試みる医療機器です。

本学では、学生支援センター入口、保健管理センター、本部棟玄関、附属図書館1階、体育館入口に設置していますので緊急の場合には使用してください。

なお、本部棟及び体育館に設置のAEDは土曜、日曜、祝日も使用できます。また、附属図書館に設置のAEDについても、休日であっても開館している日には使用できます。

Information

日本学生支援機構奨学生申請受付

平成27年度在学採用にかかる日本学生支援機構奨学生申請受付は次のとおりです。(土・日・祝日は除く)

学部1年次

	配付期間	受付期間
在学採用	4/6(月)～4/30(木)	5/7(木)～5/13(水)
進学届	インターネットで登録	※4/3(金)～4/24(金)

※4月8日までに登録した場合は初回振込日が4月21日、4月9日～4月24日に登録した場合は初回振込日5月15日となります。

学部2～4年次

	配付期間	受付期間
在学採用	3/23(月)～4/13(月)	4/14(火)～4/20(月)

学部3年編入学(新入生)

	配付期間	受付期間
在学採用	4/6(月)～4/13(月)	4/14(火)～4/20(月)
編入学奨学金継続願	随時	随時

大学院博士前期課程1年・博士後期課程1年(新入生)

	配付期間	受付期間
在学採用	3/23(月)～4/13(月)	4/14(火)～4/20(月)
進学届	インターネットで登録	※4/3(金)～4/24(金)

※4月8日までに登録した場合は初回振込日が4月21日、4月9日～4月24日に登録した場合は初回振込日5月15日となります。

大学院博士前期課程2年・博士後期課程2、3年

	配付期間	受付期間
在学採用	3/23(月)～4/13(月)	4/14(火)～4/20(月)

配付・受付場所：学生室厚生ユニット窓口

該当者

- *在学採用＝新たに奨学金を申込み者
- *進学届＝本学入学前に予約採用が決定していた者
- *編入学奨学金継続願＝本学入学前に第二種奨学金を受給していた者で継続して受給を希望する者は申し出ること(卒業後1年以内)。

日本学生支援機構の奨学生は、奨学金継続願の提出等、採用後にも重要な手続きがあります。ピロティの掲示板を必ず確認してください。

地方公共団体・財団法人等の奨学金の申請受付

募集が有り次第、学生支援センター内の掲示板に掲示します(主に、4月～6月に募集があります)。

配付・受付場所：学生室厚生ユニット窓口

※注意

日本学生支援機構やその他の奨学金については、採用時だけでなく、在学中も奨学金に関する重要な連絡をすることがあります。連絡はピロティ掲示板で行いますが、緊急の連絡は呼出掲示や電話、Eメールで行います。

掲示板の確認はもちろんですが、学生室厚生ユニット(電話：0143-46-5130)からの電話があった際は、必ず対応してください。

(電話帳に登録しておいても良いでしょう。)

これらを怠ると、最悪の場合、奨学金の採用取消や廃止につながる場合がありますので、注意してください。

授業料について

【授業料の額】

学部 昼間コース	学部 夜間主コース	大学院
267,900円 (半期額)	133,950円 (半期額)	267,900円 (半期額)
535,800円 (年額)	267,900円 (年額)	535,800円 (年額)

※ 在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新しい額の授業料が適用されます。

※ 未納の授業料については、別途、督促を行います。督促してもなお納入されないときは、学期又は大学院学期により除籍されることがあります。

(1) 授業料の納入方法

授業料の納入については、掲示及び個別の通知によりお知らせします。掲示時期は、前期分授業料が4月上旬、後期分授業料が10月上旬です。授業料の納入は、現金の取扱に伴う事故防止のため、学生又は父母等の預金口座から自動引落により大学に納入していただきます。銀行での引落手数料は、本学が負担します。

特別な事情等により預金口座からの自動引落ができない場合には、本学指定の振込用紙にて、納入期限までに振込みいただくこととなります。振込用紙は、納入期限のおよそ2週間前に対象学生の保証人住所へ郵送いたします。なお、振込手数料については、各自のご負担になります。

(2) 口座引落の手続

本学所定の様式「預金口座振替依頼書(4枚複写)」に必要事項を記入・押印のうえ、4枚目のお客様控を除いた1～3枚目を財務グループ出納ユニットまで提出してください。

なお、取扱のできる金融機関は、全国の金融機関及びゆうちょ銀行です。

(3) 口座引落の時期

口座引落日は、前期分授業料が5月27日、後期分授業料が11月27日(引落日が土・日曜日、祝日にあ

たる場合は、その翌営業日)となりますので、引落日の前日までに、授業料相当額を引落口座へ入金してください。

なお、授業料免除等申請者の方で、半額免除又は免除不許可の場合は、免除の決定がある7月と12月の27日(引落日が土・日曜日、祝日にあたる場合は、その翌営業日)に引落を行い、徴収猶予が許可された場合は、猶予の期限となる8月と2月の27日(引落日が土・日曜日、祝日にあたる場合は、その翌営業日)に引落を行います。

引落口座の変更等を行いたい場合は、財務グループ出納ユニット(0143-46-5052)までお問い合わせください。

(4) その他

領収書については、預貯金通帳の印字または金融機関の発行する受取書をもって代えさせていただきます。なお、本学が授業料を領収したことを証明する納入済額証明書を必要とする場合は、財務グループ出納ユニットに申し出てください。

授業料免除申請受付

平成27年度前期分授業料免除申請の新入生受付期間は次のとおりです。

新入生(学部、学部編入等、大学院)受付期間

：4月6日(月)～4月13日(月)

(土・日は除く)

(在学生の受付は、4月3日(金)で終了)

受付場所：学生室厚生ユニット窓口

受付期間にあまり余裕がありませんので、申請希望者は注意してください。

なお、後期分授業料免除申請用紙の配布は、本年7月中旬の予定です。

薬物は社会をこわす!

薬物乱用は、あなただけの問題ではありません!
家族も社会も不幸にします!

家族の問題

- ・ 家族の心身への負担
- ・ 家族機能の障害
- ・ 家庭内暴力
- ・ 家族崩壊

対人関係の問題

- ・ トラブルの頻発
- ・ 友人知人の喪失
- ・ 孤立
- ・ 薬物乱用仲間の形成

社会的制裁

大学では、**薬物事犯に対して、退学などの厳しい処分**が下されています。

学生生活の問題

- ・ 欠席、学習不適應

健康の問題

- ・ 性格の変化
- ・ 精神障害
- ・ 身体的障害

薬物は、**暴力団の収入源になるなど、社会の安全を脅かす**ものです。

社会的な問題

- ・ 事故の多発
- ・ 薬物汚染
- ・ 犯罪の多発

薬物乱用を取り締まる法律

- 持っているだけでも罰せられます
- 懲役刑など厳しく罰せられます

シンナー等
毒物及び
劇物取締法
懲役1年

覚せい剤
覚せい剤取締法
懲役10年

MDMA
麻薬及び
向精神薬取締法
懲役7年

大麻
大麻取締法
懲役5年

違法ドラッグ
(いわゆる違法ドラッグ)
薬事法
懲役5年

コカイン
麻薬及び
向精神薬取締法
懲役7年

あへん
あへん取締法
懲役7年

ヘロイン
麻薬及び
向精神薬取締法
懲役10年

※規則法律と最高刑「非営利目的の所持・譲渡」



インターネット等では、「合法」「法律に違反しない」などと偽って販売されている危険な薬物があります。中枢神経の興奮、抑制又は幻覚の作用を有する可能性が高く、使用された場合に保健衛生上の危害が発生するおそれがあるものに対しては、厚生労働大臣が「指定薬物」として指定し、製造、販売等の規制が行われています。

薬物乱用のない社会と学生生活を!

文部科学省・厚生労働省・警察庁

平成27年度 前期授業時間割(屋間コース・1年次)

月	産業社会系専攻		情報航空系専攻		応用化学系専攻		情報電子工学系専攻	
	1番~55番	56番以降	1番~75番	76番以降	1番~70番	71番以降	1番~95番	96番以降
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
火								
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
水								
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
木								
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
金								
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

※履修登録は行いません。(7月頃に掲示をさせていただきます。)

※履修登録をしない科目は、成績評価を受けられません。

※フロンティア英語演習・ドイツ語Ⅰ、中国語Ⅰのクラス分けについては、ヒロチの掲示の指示に従ってください。

※集中講義を受講するためには、履修登録が必要です。

集中講義	必修科目	選択科目
フロンティア英語演習	上村	選科目
ドイツ語Ⅰ	上村(窓口教員:若尾)	
中国語Ⅰ	本社(窓口教員:若尾)	

平成27年度 前期授業時間割[夜間主コース]

1 年 次

2 年 次

1 年 次		2 年 次	
月	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6
	機械航空創造系学科 フレッシュマン英語演習 T9101 内海 N406	情報電子工学系学科 フォーイ N104	機械航空創造系学科 機械力学 B7204 松本 C205
	図学 B7106 内海 N406		情報電子工学系学科 データ構造とアルゴリズム B8205 渡邊(真) R205
		フレッシュマンセミナー ※※ (後半8週) 秋山 A131, C307	TOEIC英語演習B T9121 プロトスキー N308
			材料科学A B7205 世利 C207
火	基礎化学 B7105A 太田・中野 N403	基礎化学 B7105B 太田・中野 N403	英語総合演習 T9122 フォーイ N307
	英語コミュニケーション演習 T9102 辻本 N302		解析C B7201A 森田 N208
	工業数学 B8106A 世利 C107	工業数学 B8106B 世利 C107	解析C B7201B 森田 N208
水	日本近現代史A T9106 一瀬 N101	日本文学 T9104 佐々木寛 N405	材料力学 B7202 臺丸谷 C103
	線形代数 B7101A 長谷川(雄) N208	線形代数 B7101B 長谷川(雄) N208	電磁気学 I B8202 松田 A249
	社会思想論 T9107A 松本(ま) C108		電気回路 B7206A 関根 A249
			電気回路 I B7206B 関根 A249
			社会思想論 T9107B 松本(ま) C108
木	解析A B7102A 高橋 N208	解析A B7102B 高橋 N208	ドイツ語 I T9123A 西出 C206
			ロシア語 I T9124A 鈴木(理) C205
			中国語 I T9125A 加部 C104
			流体力学 B7203 河合 C103
	基礎物理A B7103A 松元 N306	基礎物理A B7103B 松元 N306	
金	熱力学 B7107 河合 C103	フレッシュマンセミナー B8107 (前半8週)板倉 R105	地球科学 T9128A 後藤 N205
	情報メディア基礎 B7104A 刀川・桑田・石坂・早坂 C310	情報メディア基礎 B7104B 刀川・桑田・石坂・早坂 C310	機械製図 B7207 成田 A303, C309
			情報数学 B8204 岡田 C103

講義時間帯

1時限	17:00~17:45
2時限	17:45~18:30
3時限	18:40~19:25
4時限	19:25~20:10
5時限	20:15~21:00
6時限	21:00~21:45

必修科目
選択科目

注:履修登録をしていない科目は、成績評価を受けられない。

※集中講義・卒業研究を履修登録するためには、履修登録が必要です。

集中講義

集中講義

スポーツ実習b T6153B 上村 ※履修登録は行いません。(7月頃に掲示にてお知らせします。)	認知心理学 T6235B 寺尾(窓口教員:前田潤)
宇宙の科学 T6240B 勝田(窓口教員:松本(ま))	

3 年 次

4 年 次

3 年 次		4 年 次	
月	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6
	機械航空創造系学科 計算機システム B7308A 佐藤(信) C107	情報電子工学系学科 計算機システム B7308B 佐藤(信) C107	
	工作法実習 B7301 寺本 ものづくり基盤センター	情報工学演習B B8302 倉重 R105	
火	材料強度学 B7306 臺丸谷 C103	電子回路II B8304 関根 A249	
	機械加工学 B7304 寺本 C204	情報工学演習A B8301 重 R105	
水	推進工学 B7305 廣田 C205	電磁波工学 B8303 長谷川(弘) Y103・Y104	通信工学 B8402 辻 C207
	線形システム論 B7307A 梶原 C107	線形システム論 B7307B 梶原 C107	
	制御工学 B7303A 疋田 C103	制御工学 B7303B 疋田 C103	
木	ドイツ語 I T9123B 西出 C206	ロシア語 I T9124B 鈴木(理) C205	数値計算法 B7402A 川口 A250
	中国語 I T9125B 加部 C104		数値計算法 B7402B 川口 A250
	国際関係論 T9145A 天野 C107		国際関係論 T9145B 天野 C107
金	地球科学 T9128B 後藤 N205	流体機械 B7401 鈴木淳 C204	半導体工学 B8401 福田 C203
	機械航空創造系セミナー-A B7302 湯浅	電気電子工学実験 I B8308 川口・武田・秋山・堀口・夢田 A235・A238・A239・A242	

卒業研究等

卒業研究 I B7403	卒業研究 B8405
	情報と職業 B4213B
	未定(窓口教員:鈴木(幸))

平成27年度 学年暦

前期							後期							
4月							10月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4					1	2	3	
				(木)-1	(金)-1						(木)-1	(金)-1		
5	6	7	8	9	10	11	4	5	6	7	8	9	10	
				(木)-2	(金)-2		(月)-1	(火)-1	(水)-1	(木)-1	(金)-2			
12	13	14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16	17	
(月)-1	(火)-1	(水)-1	(木)-2	(金)-2			(火)-2	(水)-2	(木)-2	(金)-3				
19	20	21	22	23	24	25	18	19	20	21	22	23	24	
(月)-2	(火)-2	(水)-2	(木)-3	(金)-3			(月)-3	(火)-3	(水)-3	(木)-3	(金)-4			
26	27	28	29	30			25	26	27	28	29	30	31	
(月)-3	(火)-3	(水)-3					(月)-4	(火)-4	(水)-4	(木)-4	(金)-5			
5月							11月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	1	2	3	4	5	6	7	
					(金)-4		(月)-5	(火)-5	(水)-5	(木)-5	(金)-6			
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	
				(木)-4	(金)-5		(月)-6	(火)-5	(水)-6	(木)-6	(金)-7			
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	
(月)-4	(火)-4	(水)-4	(木)-5	(金)-6			(月)-7	(火)-6	(水)-7	(木)-7	(金)-8			
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	
(月)-5	(火)-5	(水)-5	(木)-6	(金)-6			(火)-7	(水)-8	(木)-8	(金)-9				
24	25	26	27	28	29	30	29	30						
(月)-6	(火)-6	(水)-6	(木)-7	(金)-7			(月)-8							
31														
6月							12月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	6			1	2	3	4	5	
	(月)-7	(火)-7	(水)-7	(木)-8	(金)-8				(火)-8	(水)-9	(木)-9	(金)-10		
7	8	9	10	11	12	13	6	7	8	9	10	11	12	
(月)-8	(火)-8	(水)-8	(木)-9	(金)-9			(月)-9	(火)-9	(水)-10	(木)-10	(金)-11			
14	15	16	17	18	19	20	13	14	15	16	17	18	19	
(月)-9	(火)-9	(水)-9	(木)-10	(金)-10			(月)-10	(火)-10	(水)-11	(木)-11	(金)-12			
21	22	23	24	25	26	27	20	21	22	23	24	25	26	
(月)-10	(火)-10	(水)-10	(木)-11	(金)-11			(月)-11	(火)-11						
28	29	30					27	28	29	30	31			
(月)-11	(火)-11						(月)-11							
7月							1月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4						1	2	
			(木)-11	(木)-12	(金)-12									
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	
(月)-12	(火)-12	(水)-12	(木)-13	(金)-13			(火)-12	(水)-12	(木)-12	(金)-13				
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	
(月)-13	(火)-13	(水)-13	(木)-14	(金)-14			(月)-12	(火)-13	(水)-13	(木)-13	(金)-14			
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	
(火)-14	(水)-14	(木)-14	(金)-15				(月)-13	(火)-13	(水)-14	(木)-14	(金)-14			
26	27	28	29	30	31		24	25	26	27	28	29	30	
(月)-15	(火)-15	(水)-15	(木)-15	(金)-16			(月)-14	(火)-14	(水)-15	(木)-15	(金)-15			
8月							2月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
						1		1	2	3	4	5	6	
							(月)-15	(火)-15	(水)-16	(木)-16	(金)-16			
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	
(月)-16	(火)-16	(水)-16	(木)-16	(金)-17			(月)-16	(火)-16	(水)-17	(木)-17	(金)-17			
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	
(月)-17	(火)-17	(水)-17					(月)-17	(火)-17	(水)-18	(木)-17	(金)-18			
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	
							(月)-18	(火)-18			(金)-19			
23	24	25	26	27	28	29	28	29						
							(月)-19							
30	31													
9月							3月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	
				(木)-17	(金)-18									
20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	
(月)-18	(火)-18	(水)-18	(木)-18	(金)-18										
27	28	29	30				27	28	29	30	31			
(月)-19	(火)-19	(水)-19					(月)-19							

1~5日 春期休業
 6日 入学宣誓式
 7~8日 学部新生オリエンテーション
 7日 DC新入生教務ガイダンス
 8日 MC新入生教務ガイダンス
 9日 前期授業開始
 9~21日 前期履修登録期間
 11日 学部1年次TOEIC試験実施日
 20~24日 定期健康診断
 30日 水曜日の振替授業日

16~17日 体育祭
 22日 開学記念日
 23~24日 体育祭

30日 課程博士学位論文
 提出期限(9月修了)

4日 博士前期課程入学試験(推薦)
 23日 月曜日の振替授業日
 31日 定期試験・補講日
 31日 修士学位論文
 提出期限(9月修了)

1~6日 定期試験・補講日
 1日 オープンキャンパス
 7~12日 定期試験予備日
 7日 学部3年次TOEIC試験実施日
 13日 夏期休業 ~9月16日

1日 博士後期課程入学試験
 1~2日 博士前期課程入学試験
 17~30日 集中講義期間
 18日 大学祭準備
 (臨時休業)
 19~20日 大学祭

1日 後期授業開始
 1~9日 後期履修登録期間
 15日 月曜日の振替授業日

23日 冬期休業 ~1月4日
 25日 課程博士学位論文
 提出期限(3月修了)

12日 月曜日の振替授業日
 15日 大学入試センター試験
 準備(臨時休業)
 16~17日 大学入試センター
 試験
 29日 修士学位論文
 提出期限(3月修了)

3~9日 定期試験・補講日
 10~16日 定期試験予備日
 12日 卒業研究論文提出期限
 17~29日 集中講義期間
 24日 学部入学試験準備
 (臨時休業)
 25日 学部入学試験
 (臨時休業)

1日 春期休業 ~4月5日
 1日 博士後期課程入学試験
 (第2次募集)
 1~2日 博士前期課程入学試験
 (第2次募集)
 23日 学位授与式

- 凡例
- : 授業日
 - : 定期試験・補講日
 - : 定期試験予備日
 - : 休業日
 - : 臨時休業日
 - : 集中講義期間 (対象講義のみ)
- (前期授業日: 4月9日~7月30日)
 (後期授業日: 10月1日~2月2日)
- (授業担当教員の都合により、上記以外の期間に実施することもある。)

振替授業日一覧

- 4月30日 水曜日の振替授業日
- 7月23日 月曜日の振替授業日
- 10月15日 月曜日の振替授業日
- 1月12日 月曜日の振替授業日

室蘭工業大学のキャンパス内は 全面禁煙です



編集後記

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

この冊子「蘭岳」は、本学が編集・発行している広報誌で、年2回皆様にお届けします。授業時間割や大学の行事予定の他、特集記事や大学生活に役立つ情報などを掲載していますので、是非ご一読下さい。

今回の特集は「Welcome to Muroran IT」と題して、各系学科等の先生やサークルの学生の方から新入生に向けたメッセージを頂いております。どのメッセージにも、不安を抱いて入学してくる新入生の皆さんへのエールが一杯詰まっています。皆さんは本学で学ぶ権利を得ました。自分の将来像を描き、これからの4年間を有意義に過ごして下さい。私たちは、目標に向かって努力する皆さんを心から歓迎し、全力で応援します。

最後になりましたが、お忙しい中、ご寄稿いただきました皆様には厚くお礼申し上げます。
(C. S.)





蘭岳 第132号

平成27年4月1日発行 年2回発行

編集：室蘭工業大学学生サポート委員会

カバーデザイン：建築社会基盤系学科山田研究室

印刷：日光印刷

非売品